

## 社会福祉法人そてつ福社会 令和5年度決算報告について

令和5年度決算に係る計算書類・財産目録・現況報告書は、社会福祉法第59条に基づき、「社会福祉法人財務諸表等電子開示システム」を活用し、届け出ております。公開システムの閲覧が可能となるまで、しばらくお待ち下さい。

なお、令和4年度以前の分は、

[https://www.wam.go.jp/wamnet/zaihyoukaiji/pub/PUB0201000E00.do?FORMID=PUB0219000&vo\\_headVO\\_corporationId=1647119782](https://www.wam.go.jp/wamnet/zaihyoukaiji/pub/PUB0201000E00.do?FORMID=PUB0219000&vo_headVO_corporationId=1647119782)

よりご確認いただけます。

その他、公表事項は次ページ以降をご覧ください。

# 令和5年度（2023年度）事業報告

社会福祉法人そてつ福祉会  
大地保育園 大地学童クラブ

## 1. 社会福祉・保育界の動向と課題

- ・異次元の少子化対策を打ち出すも財源捻出で苦慮
- ・少子高齢化社会、保育所の待機児童解消、保育士不足対策、保育士の処遇改善対策
- ・保育士確保の為抜本的な処遇改善対策（基本給アップ）、保育料無料化、公立保育所存続、給食費補助

## 2. 創設45周年を迎えた法人運営・施設運営 =次頁参照=

## 3. 法人運営・施設運営の経緯

理事会設立 昭和55年（1980年）3月31日 社会福祉法人そてつ福祉会設立認可（厚生大臣）  
法人設立代表者・嘉数成勇、初代理事長・佐久本盛光、理事・嘉数行雄、理事・平田永哲  
理事・外間勝義、理事・新垣典子、監事・金城盛夫、監事・赤嶺光男  
評議員会設立 平成30年（2018年）6月1日 社会福祉法改正に伴い評議員会設置

大地保育園開園 昭和55年（1980年）4月1日 大地保育園施設開設認可（沖縄県知事認可）  
住所 豊見城村字豊見城29番地（嘉数成勇宅地205坪、法人に寄贈）村内4番目の認可園  
児童定員 1歳児10人 2歳児12人 3歳児18人 4歳児20人 児童定員合計60人  
職員定員 園長1人 主任保育1人 保育6人 調理員2人 職員定員合計10人  
初代園長・嘉数成勇 初代主任保育・嘉数ノリ子 初代保護者会長・外間清一

大地保育園移転 平成25年（2013年）3月1日 5次の事項変更を経て、定員110人として認可  
住所 豊見城市字豊見城197番地69（風光明媚豊見城尋常小学校跡地）に移転。550坪。  
嘉数成勇・嘉数雅也両名より無償借地契約。旧保育園敷地は運動場等として整備。  
現在（令和6年5月1日現在） 0歳児12人、1歳児18人、2歳児24人、3歳児27人、  
4歳児27人、5歳児27人、児童現員135人（入所定員140人）  
特記 開園以来『幼児期は生きる力の基礎。生命を大切に創造性豊かな子供の育成』モットー。  
\*卒園児合計1016人。（平成25年度までは4歳児が卒園対象744人）  
\*食育重視、大地すくすくデー、ムーチャー、平成28年度よりコスモフーズに給食業務委託。  
\*開園以来継続して発行している園だより『大地』が11015号（令和6年5月29日）  
\*開園以来継続して取り組む地域活動事業『月例クリーン作戦』が45年目の清掃活動。  
\*開園以来継続の障害児保育、平成4年度より乳児保育、平成26年度より5歳児保育。  
\*平成28年（2016年）4月1日、村社真知子3代目園長就任。  
\*チャレンジ保育で外部講師を招き、平成26年度より運動あそび、書道教室を導入。

大地学童クラブの開設 平成2年（1990年）4月1日に定員30人でスタート（幼稚園・小学生受入）  
\*初代主任指導員仲吉美奈子、豊見城村字豊見城28番地（55坪、園舎24坪、借地）  
\*放課後児童健全育成事業として豊見城市より認可＝平成7年（1995年）4月1日  
大地学童クラブの移転 平成27年（2015年）4月1日に豊見城市字豊見城617番地2に移転  
定員40人（ゆたか小学校隣接地、同児童のみ受入、久保田早苗主任支援員）

上田学童クラブ 平成19年（2007年）4月1日、豊見城市字上田588番地（借地・JA豊見城村  
隣接地）開設。長嶺美智子初代主任指導員、定員40人、幼稚園児から6年生受け入れ  
平成30年（2018年）3月31日閉園、12年で事業閉鎖。

創設40周年記念事業（2021～2022年度） 東園庭整備事業（人工芝敷設、遮光ネット付設、蘇鉄植樹）  
学童運動場整備（民家隣接部擁壁、フェンス敷設工事）

令和5(2023)年度 事業報告

大地保育園・年間入所児童数 1696人 (うち短時間 231人) (定員140人)

月・年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	各月合計	弾力率
4月	15 ( 3 )	18 ( 0 )	24 ( 2 )	27 ( 1 )	29 ( 4 )	29 ( 5 )	142人 ( 15 )	101%
5月	15 ( 1 )	18 ( 0 )	24 ( 4 )	27 ( 1 )	29 ( 2 )	29 ( 4 )	142人 ( 12 )	101%
6月	15 ( 1 )	18 ( 0 )	24 ( 4 )	27 ( 2 )	29 ( 2 )	29 ( 4 )	142人 ( 13 )	101%
7月	15 ( 1 )	18 ( 0 )	24 ( 3 )	27 ( 3 )	29 ( 2 )	29 ( 4 )	142人 ( 13 )	101%
8月	15 ( 1 )	18 ( 0 )	24 ( 3 )	27 ( 3 )	28 ( 2 )	29 ( 4 )	141人 ( 13 )	101%
9月	15 ( 1 )	18 ( 1 )	24 ( 4 )	27 ( 3 )	28 ( 4 )	29 ( 4 )	141人 ( 17 )	101%
10月	15 ( 1 )	18 ( 2 )	24 ( 4 )	27 ( 4 )	28 ( 3 )	29 ( 7 )	141人 ( 21 )	101%
11月	15 ( 1 )	18 ( 0 )	24 ( 5 )	27 ( 4 )	28 ( 2 )	29 ( 7 )	141人 ( 19 )	101%
12月	15 ( 1 )	18 ( 0 )	24 ( 8 )	27 ( 4 )	28 ( 4 )	29 ( 7 )	141人 ( 24 )	101%
1月	15 ( 2 )	18 ( 0 )	24 ( 8 )	27 ( 5 )	28 ( 4 )	29 ( 7 )	141人 ( 26 )	101%
2月	15 ( 2 )	18 ( 0 )	24 ( 8 )	27 ( 6 )	28 ( 5 )	29 ( 8 )	141人 ( 29 )	101%
3月	15 ( 2 )	18 ( 0 )	24 ( 8 )	27 ( 6 )	28 ( 5 )	29 ( 8 )	141人 ( 29 )	101%
合計	180 ( 17 )	216 ( 3 )	288 ( 61 )	324 ( 42 )	340 ( 39 )	348 ( 69 )	1696人 ( 231 )	

※( )内の数字は、短時間保育の園児数を再掲しています。 ※標準保育=7時~18時 ※短時間保育=8時~16時

年間開設日数(台風休2日含む) 292日

障害児保育事業実績

1人 ( 5歳児男児 )
--------------

⇒ 保育内容は別添資料

延長保育事業実績(特別保育事業)

年間延べ利用児童数	1391人
月平均延べ利用児童数	116人
月平均実児童数	38人
一日平均利用児童数 (月~土曜日・30分延長)	6人

※令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更。

大地学童クラブ・年間利用児童数 492 人 (定員40人)

学年 月	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
4月	19	12	8	2	0	0	41
5月	19	12	8	2	0	0	41
6月	19	12	8	2	0	0	41
7月	19	12	8	2	0	0	41
8月	19	12	8	2	0	0	41
9月	19	12	8	2	0	0	41
10月	19	12	8	2	0	0	41
11月	19	12	8	2	0	0	41
12月	19	12	8	2	0	0	41
1月	19	12	8	2	0	0	41
2月	19	12	8	2	0	0	41
3月	19	12	8	2	0	0	41
合計	228	144	96	24	0	0	492
月平均児童数	41人		※ 障害児2人(1年生女兒1人、2年生男児1人)				

年間開設日数(台風休5日含まず) 287日

※令和2年度より、ひとり親家庭への補助事業が開始される。一人5,000円/月の補助。

(豊見城市放課後児童クラブ利用支援事業=令和5年度7人利用)

※令和4年度より、賃借物件にて学童運営しているクラブへの補助事業が開始される。

一人2,700円/月の補助。

## 保 育 内 容

- \* 保育目標 「生命を大切に創造性豊かな子どもの育成」
- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| (子ども像) | たくましく 元気な やさしい子       |
| (園 像)  | 自然とふれあい 伸び伸び育つ 明るい保育園 |
| (保育者像) | 子どもと遊び みんなで取り組む 大地の保育 |

### \* 日々の保育の留意事項

- 0歳児(ちゅうりっぷ)組…保健衛生に十分配慮された環境の中で、一人一人の心身の状態を把握し、丁寧な関わり・保護者との密な連携のもとで安心して生活できるようにする。
- 1歳児(すみれ)組…安全で健康的な環境づくりを心がけ、外界に対する好奇心や関心を育むと共に、生理的欲求や甘えの気持ちを満たし情緒の安定を図る。
- 2歳児(たんぼぼ)組…安心できる環境のもとで、身の回りの簡単な活動に挑戦しようとする意欲を育む。必要に応じて仲立ちとなり、ごっこ遊びや言葉のやりとりを促す。
- 3歳児(きく)組…食事や排泄、衣服の着脱など生活面の自立に伴う自己主張や自立心を受け止める。友達と関わりながら様々な遊びが安全に楽しく展開できるよう環境を整える。
- 4歳児(ひまわり)組…自分の体験や思いを言葉で伝えながらも、相手の思いに気付ける場を設ける。友達との関わりを深め協力し、課題意識をもって行動する中で達成感が味わえるようにする。
- 5歳児(でいご)組…主体的に行動しながら、友達と協同し目的を成し遂げる喜びを味わえるようにする。

### \* クラス運営の留意事項と内容

- 保育所保育指針を熟読し、年齢毎の成長発達に沿った計画・立案・実施に努める。
  - 0歳児(ちゅうりっぷ)組・1歳児(すみれ)組  
\*一人一人の生活リズムやその日の体調に合わせ、個別に園庭遊び(外気浴)や異年齢児との交流を経験し、楽しさを味わう。
  - 2歳児(たんぼぼ)組・3歳児(きく)組・4歳児(ひまわり)組・5歳児(でいご)組  
\*体調や生活リズムのタイミングに考慮しながら、担任同士の共通理解と密な連携を図りながら園庭遊びを共に楽しむ等、日常的に異年齢児交流を図る。(クッキングや栽培活動)
  - 各期ごとに子どもの成長発達をしっかりと評価・把握し、編成について検討・見直しを試みる。  
\*毎日の個別記録をとり、個々の成長・発達や日々の変化を職員間で把握・共通理解を図る。  
\*各期末に児童票を提出し、次期の目標や課題、援助・配慮を検討する。
  - 月例の行事運営においては、3クラスに分けて行う。  
\*0・1歳児(2階フロア) \*2・3歳児(3歳児クラス) \*4・5歳児(5歳児クラス)  
\*おはなし集会・お楽しみ会等
  - 運動遊び(金午前) 2・3・4・5歳児 太陽スポーツクラブ体育指導員・名幸広平  
書道(火午後) 5歳児 昇峰書道教室主宰・上原昇峰
- 薫り高い郷土の伝統文化を積極的に保育・行事に取り入れる。  
\*沖縄の音楽・踊りなどを日常の保育や各行事に取り入れる。(太鼓・エイサー等)
- 園外保育や自然体験活動を積極的に取り入れる。  
\*室内あそび、園庭あそび、園外保育(散歩や弁当会)  
\*弁当会…園庭や保育室で楽しむ。  
\*お別れ遠足…4・5歳児組、大型バス(カリー観光バス借用)にて沖縄こどもの国(動物園)へ出かける。
- 心身ともに健康な保育者を目指し、生涯学習の日常化に努める。  
\*研修などには積極的に参加するようにし、自己研鑽に努める。
- 1年間の保育の総まとめと保育の質の向上に向けた「自己評価」を行う。  
「自己評価書」の原本ファイルを設置し、利用者等に供覧する。
- 日々環境に対する課題は多く、安全保育を第一に検討する。
- 保育会議  
月1回の保育会議で、各クラスの様子や事例検討を行い、個別配慮や保護者支援など共通理解を図る。

## 令和5(2023)年度 事業報告

### 8. 食育計画に基づき、食育の推進に努める。

#### ①保育園給食の工夫

- \*栄養バランスのとれた食事を提供。コスモフーズへ給食業務を委託する。
- \*子どもの各年齢に合わせた（離乳食と幼児食）で調理法と食べやすい調理形態の工夫を行う。
- \*離乳食では、家庭と連絡を取り、（中期食・後期食・きざみ食・幼児食）の調理形態で、個人の成長に合わせて行う。
- \*家庭でなかなか摂取の難しい食材（豆類や芋類、葉野菜等）を使った保育園オリジナルメニューを取り入れて新鮮な食材を使い、色々な調理法や味付けに慣れ親しむ工夫を行う。
- \*栽培活動では、アサガオや二十日ネギ、トマトの植え付けを行う。3～5歳児組で毎月1回、大地すくすくデー（食育の日）を設け、絵本や紙芝居・パネルシアターなどを楽しんだり、安全面・衛生面に留意しながら、栽培した食材でのクッキング活動を行い、食育への興味・関心を育む。
  - 3歳児（おにぎり、ジャムサンド、フルーツゼリー、ワッフルサンド、ヒラヤーチー、ムーチー、カレーライス、パフェ）
  - 4歳児（フルーツゼリー、ジャムパイ、ヒラヤーチー、ムーチー、カレーライス、カップデコレーションケーキ）
  - 5歳児（ジャムサンド、サンドウィッチ、焼きそば、ヒラヤーチー、ムーチー、カレーライス、デコレーションカップケーキ）
- \*除去食（個別の食物アレルギー食）や体調不良による特別食での対応を行う。
  - 除去食 0歳児（2人）→卵、エビ、小麦 1歳児（2人）→卵 5歳児（1人）→魚

#### ②給食会議

- \*月1回の給食会議で、各クラスの食事の様子を食べる側と作る側の意見をもとに、子どもにあった方法を検討し、翌月の課題として対応する。
- \*食物アレルギーのある子どもの様子や除去食品（卵、エビ、小麦、魚、）除去と代替食への配慮。

#### ③食事の写真を配信

- \*保育園での一日分の食事の内容を見てもらう為、離乳食と幼児食の写真をコドモンにて配信。

### \* 保育実習、受け入れ

#### ○保育実習

- ・沖縄女子短期大学 (3人) 8月3日(木)～8月16日(水) うち10日間  
2月5日(月)～2月19日(月) うち10日間
- ・沖縄こども専門学校 (1人) 6月26日(月)～7月7日(金) うち10日間
- ・尚学院国際ビジネス  
アカデミー (1人) 10月16日(月)～10月27日(木) うち10日間

#### ○保育ボランティア体験

- ・沖縄こども専門学校 (1人) 7月18日(火)～7月21日(金) うち4日間

#### ○保育観察実習

- ・福岡こども専門学校 (1人) 11月27日(月)～12月1日(金) うち5日間

#### ○保育体験活動

- ・沖縄キリスト教短期大学 (2人) 8月22日(火)～8月23日(水) 2日間  
9月26日(火)～9月27日(水) 2日間

### \* 理事会、評議員会

- ・監事監査 5月29日(月) 時間：14:00～15:30
- ・理事会 ①5月31日(水) 時間：14:00～15:00 ②6月20日(火) 時間：15:00～15:30  
③1月30日(火) 時間：14:00～15:00 ④3月29日(金) 時間：14:00～15:00
- ・評議員会 ①6月20日(火) 時間：14:00～15:00

### \* 県指導監査

- ・7月27日(木) 保育所運営部門、会計管理部門。沖縄県こども生活福祉部より2人来園。

## 保 健 衛 生

保健計画に基づき、健康でよりよい集団生活を送る為に、安全保育に努めるとともに集団生活に必要な検査（幼児健診、歯科検診、尿・蛭虫検査等）を行う。

### 1、幼児健診（年2回実施） 嘱託医：嘉数雅也

※ 嘱託医による健康診断を受ける。個人で治療が必要な場合はそのつど病院で診てもらう。

前期…① 6月7日 ② 7月19日

後期…① 11月8日 ② 11月22日

### 2、歯科検診（年2回実施） 嘱託医：金城やよい

※ 嘱託医による歯科検診を受ける。治療が必要な場合は個人で治療する。

前期…① 7月20日 未受検の子は嘱託医歯科医院にて個別に検診を受ける。

後期…① 12月21日 未受検の子は嘱託医歯科医院にて個別に検診を受ける。

### 尿・蛭虫検査（年2回実施）

※ 検査項目（尿蛋白、尿潜血、尿糖、蛭虫）

蛭虫の検査結果、陽性の場合、各自病院にて薬を処方してもらい、後日再検査を行う。

前期（尿・蛭虫検査） <全園児 142人>

（4月19日）尿検査提出 園児 130人 （5月8日）尿検査提出 園児 10人

蛭虫検査提出 園児 135人 （5月9日）蛭虫検査提出 園児 6人

後期（尿） <全園児 141人>

（10月3日）尿検査提出 園児 112人 （10月23日）尿検査提出 園児 27人

### 3、毎月、全園児を対象に身体測定を実施し、成長確認をする。

### 4、今年罹った伝染病等

- ・新型コロナウイルス…9人
- ・流行性結膜炎…1人
- ・アデノウイルス感染症…7人
- ・インフルエンザ感染症…76人
- ・溶連菌感染症…2人
- ・流行性耳下腺炎…1人
- ・ヘルパンギーナ…1人

### 6、職員健診（年1回）

※ 要検査が必要な場合は個人で治療を行う。

① 35歳未満と35歳以上の希望者は集団健診（日本健康倶楽部による健診）を行う。

9月13日 14人

② 35歳以上は全国健康保険協会（協会けんぽ）の指定病院にて健診を行う。

10月～3月 14人

### 7、0歳児担当職員検便検査（毎月1回）

※ 赤痢菌、サルモネラ菌、腸官出血性大腸菌 O-157 の3項目を行う。

4月18日6人（異常なし） 5月16日6人（異常なし） 6月13日6人（異常なし）

7月18日6人（異常なし） 8月17日6人（異常なし） 9月12日7人（異常なし）

10月17日7人（異常なし） 11月14日7人（異常なし） 12月12日7人（異常なし）

1月16日6人（異常なし） 2月14日6人（異常なし） 3月13日6人（異常なし）

### 8、厨房職員（委託先：コスモフーズ）検便検査（毎月1回、6～10月2回）

※ 赤痢菌、サルモネラ菌、腸官出血性大腸菌 O-157 の3項目を行う。

4月17日5人（異常なし） 5月17日4人（異常なし）

6月14日・27日4人（異常なし） 7月25日5人（異常なし）

8月29日5人（異常なし） 9月12日・26日4人（異常なし）

10月18日（1人異常あり※サルモネラ属菌陽性）31日4人（異常なし）

11月13日4人（異常なし） 12月12日4人（異常なし）

1月16日4人（異常なし） 2月14日4人（異常なし） 3月12日4人（異常なし）

（コスモフーズより応援が入る場合はその都度、結果を確認）

## 安全管理

衛生・安全の計画、災害の計画に基づき、安全保育に努める。

- 1、乳幼児突然死症候群の予防、毎日乳児睡眠チェックを行う。
- 2、職員に対する危機管理マニュアルの周知徹底。
- 3、園内遊具のチェックを毎日行う。
- 4、建物、火気使用設備等のチェックを毎月行う。
- 5、事故報告書の作成徹底。

・病院で処置をしたケガ（16件）

(内訳)・他児と衝突し、前歯強打と下唇裂傷

・鉄筋に頭部をぶつけ、裂傷

・転倒による前歯強打と、下唇裂傷

・転倒した際に、左足親指の骨折

・転倒による右目付近の打撲

・他児と衝突し、転倒した際に左腕の打撲

・転倒による右膝、足首の負傷

・転倒による前歯強打と歯茎からの出血

・他児と衝突し、上前歯歯ぐきから出血とぐらつき

・柵に衝突した際に、小帯の裂傷と、歯茎からの出血

・転倒による唇と小帯の裂傷

・小帯裂傷

・転倒による小帯裂傷

・転倒による肘内障

・右肘を床に打ちつけての肘内障

・跳び箱を跳ぶ際に左中指、人差し指の突き指

### 6、避難誘導訓練

災害の計画に基づき、施設等において火災、その他の災害が発生した場合、平素の反復訓練の成果によって、児童等を災害から保護し、あわせて防火思想の普及ならびに人命尊重の意識の高揚を図ることを目的とする。

(火災予防)

火災の発生を防止するため管理権限者は次の者に定期的に検査させるものとする。

①消防用設備点検有資格者、又は、消防設備士の免状の交付を受けているもの。

※消防用設備等の定期点検 年1回以上（令和5年9月28日）

②防火管理者

※建築物の防火検査 年2回以上

※火を取り扱う設備器具

※電気設備器具

※消防用設備等の点検、手入れ

(火災防御)

通報連絡…火災を発見した者は、火災の発生を全員に知らせると共に防火管理者に報告する。

避難誘導…避難誘導班は非常口を開放し避難者の誘導にあたりると共に残存者の有無の確認に務める。

消火活動…消火班は消火器などで消火活動にあたり火災が拡大し危険となった時は速やかに避難する。

(防火管理者の責務)

防火管理者は防火管理上必要な業務を行う時は、管理権限者の指示を求めると共に次の事項を実施する。

①消防訓練

※避難通報及び消火訓練を年2回以上行う。

※消防訓練を行う時は防火管理者をはじめ職員は自衛消防組織編成表に定める任務を遂行する。

※消防訓練を行う時は、全職員が参加するものとする。



(避難訓練実施記録)

日時	訓練内容	完了時間	参加人数(園児)	合計 (職員含む)
4/25(火) 10:05	台所を火元と想定し非常ベルを鳴らし避難場所(東園庭)へ避難する	4分46秒	0歳児…10人、1歳児…14人、2歳児…22人 3歳児…27人、4歳児…29人、5歳児…29人	162人
5/10(水) 10:00	台所を火元と想定し非常ベルを鳴らし避難場所(東園庭)へ避難する	4分40秒	0歳児…11人、1歳児…17人、2歳児…21人 3歳児…24人、4歳児…26人、5歳児…29人	158人
6/21(水) 10:00	4歳児保育室を火元と想定し避難場所(玄関ポーチ)へ避難する	3分20秒	0歳児…13人、1歳児…10人、2歳児…23人 3歳児…25人、4歳児…26人、5歳児…27人	152人
7/7(金) 10:00	大規模地震、大津波発生を想定して避難訓練を行う	3分45秒	0歳児…12人、1歳児…17人、2歳児…23人 3歳児…21人、4歳児…27人、5歳児…23人	149人
8/25(金) 15:05	台所を火元と想定し非常ベルを鳴らし避難場所(東園庭)へ避難する	3分35秒	0歳児…7人、1歳児…15人、2歳児…21人 3歳児…26人、4歳児…28人、5歳児…25人	147人
9/6(水) 10:00	台所を火元と想定し非常ベルを鳴らし避難場所(東園庭)へ避難する	5分10秒	0歳児…11人、1歳児…17人、2歳児…22人 3歳児…25人、4歳児…27人、5歳児…27人	158人
10/19(木) 15:00	2歳児保育室を火元と想定し避難場所(玄関ポーチ)へ避難する	3分50秒	0歳児…11人、1歳児…18人、2歳児…21人 3歳児…26人、4歳児…27人、5歳児…28人	160人
11/2(木) 10:00	豊見城市広域計画に基づき大規模地震、大津波発生を想定して避難訓練を行う	3分42秒	0歳児…15人、1歳児…18人、2歳児…24人 3歳児…26人、4歳児…26人、5歳児…29人	170人
12/6(水) 10:05	0歳児保育室を火元と想定し避難場所(東園庭)へ避難する	4分13秒	0歳児…13人、1歳児…17人、2歳児…22人 3歳児…26人、4歳児…24人、5歳児…26人	163人
R5 1/11(木) 15:00	台所を火元と想定し非常ベルを鳴らし避難場所(東園庭)へ避難する	4分40秒	0歳児…13人、1歳児…16人、2歳児…24人 3歳児…26人、4歳児…27人、5歳児…27人	159人
2/1(木) 10:00	3歳児保育室を火元と想定し避難場所(東園庭)へ避難する	3分32秒	0歳児…14人、1歳児…16人、2歳児…22人 3歳児…26人、4歳児…28人、5歳児…27人	160人
3/18(月) 10:00	事務所を火元と想定し非常ベルを鳴らし避難場所(東園庭)へ避難する	3分17秒	0歳児…14人、1歳児…18人、2歳児…22人 3歳児…24人、4歳児…26人、5歳児…25人	158人

- ※反省・課題
- ・避難訓練の意義を職員が念頭に置きつつ、全体での避難方法と避難場所の確認を丁寧に行う。
  - ・地震訓練については、豊見城市広域地震・津波避難訓練を活用して行うことができた。

## 保育内容(主な行事)

### \* 入園式・進級式

日時: 令和5(2023)年4月1日(土)

場所: 大地保育園 2階フロア (進級式は各クラス)

ねらい: ①入園・進級の喜びを味わい、これから友達と楽しく遊べるという期待をもたせる

②先生や友達がたくさんいる事、楽しい所である事を知らせる

③保護者や園児にクラス担任を知らせる

④年少児をいたわり、思いやる心を育む

⑤保護者に集団生活の意義や、園生活の過ごし方、乳幼児の発達について理解を深め、育ち合いの輪を広げる

・入園式は、新入園児30人、途中入園児4人(1人欠席)が保護者と一緒に参加、手遊び、新入園児紹介、職員紹介等、和やかな雰囲気の中、執り行われた。

進級式は、各クラスで行い、新担任と進級を喜び合った。

### \* 親子遠足

日時: 令和5(2023)年4月22日(土)

場所: 豊見城総合陸上競技場

ねらい: ①親子で遠足に参加し触れ合いをもつ

②保育士や他の保護者との交流を楽しむ

・新型コロナウイルス感染症が落ち着き、久しぶりの開催となった。全体での触れ合い遊びや、各クラスに分かれての親子ゲームなどを通して、保護者、職員、子ども達が交流を図りながら、みんなで楽しく過ごすことができた。

### \* 保育参観・参加(前期)

日時: 令和5(2023)年6月5日(月)、6日(火)、8日(木)、9日(金)、16日(金)

・保護者を園に招いての保育参観・参加は久しぶりの開催となった。5日間に分けて、日頃の子どもの園での様子を見て頂いたり、散歩、園庭遊びなど保護者が一緒に活動に参加しながら、楽しい時間を過ごすことができた。

### \* 大地運動会

日時: 令和5(2023)年10月14日(土)

場所: 大地保育園 東園庭 (3~5歳クラスのみ)

ねらい: ①元気いっぱい体を動かし、健康な身体をつくる

②郷土文化に触れながら、日頃の保育でやっていることをみんなで力を合わせて演技する

③親子で一緒に楽しむ雰囲気をつくる

・3~5歳児クラスのための運動会。子ども達の主体性を大切にし、試行錯誤しながら開催方法を工夫し進めていった。保育園での開催という事もあり一人一人が落ち着いてのびのびと、好きな事、得意な事を自信をもって披露することが出来、保護者と成長の姿を共有することができた。

### \* 保育参観・参加(後期)

日時: 令和5(2023)年11月1日(水)、6日(月)、7日(火)、9日(木)、10日(金)

・0~2歳児クラスのための保育参観。5日間に分けて、日頃の子どもの園での食事の様子や、遊びの様子を見て頂きながら、園と家庭での様子を情報共有したり、成長を喜び合う機会となった。

＊大地発表会

日時：令和5(2023)年12月23日(土)

場所：大地保育園 2階フロアー 各保育室

ねらい：①日頃の保育でやっていることを舞台上で伸び伸びと発表する

②子ども、保護者、保育者が共感し楽しむ雰囲気をつくる

③沖縄の伝統文化をとり入れ、「わらべうた」「民話」などを楽しむ

・3～5歳児クラスのための発表会。4・5歳児クラスは、各保育室で作品展示もあり。各クラス普段の保育の中で楽しんでいる遊戯、リズム太鼓、運動遊びなどを、保護者の前で伸び伸びと披露することができた。保護者と子ども達の成長を喜び合うことができた。

＊卒園式

日時：令和6(2024)年3月23日(土)

場所：大地保育園 2階フロアー

ねらい：①保育園でのできごとを思いおこしながら、卒園・修了する

②一人ひとりの卒園・修了をみんなで祝い、進級する喜びを味わう

③お世話になった先生方やお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん方へ感謝する

・卒園式は、5歳児29名全員が参加。和やかな雰囲気の中、歌や手話ソング、言葉などを披露し、保護者と成長の姿を喜び合うことができた。修了式は0～4歳児クラスが集まり、歌やダンスを披露し合いながら全体で一年間の成長を喜び合った。

＊修了式

日時：令和6(2023)年3月25日(月)

場所：大地保育園 2階フロアー

## 障害児保育

### \*保育所保育指針による障害児保育

第13章 保育所における子育て支援及び職員の研修など

#### 1 入所児童の多様な保育ニーズへの対応

##### (1) 障害のある子どもの保育

障害のある子どもの保育にあたっては、一人一人の障害の種類、程度に応じた保育ができるように配慮し、家庭、主治医や専門機関との連携を密にするとともに、必要に応じて専門機関からの助言を受けるなど適切に対応する。

また、地域の障害のある子どもを受け入れる教育機関等との連携を図り、教育相談や助言を得たり、障害のある幼児・児童との交流の機会を設けるよう配慮する。

### \*経緯

昭和55(1980)年4月 大地保育園開園、障害児保育スタート。

昭和57(1982)年4月 豊見城村より初の障害児保育実施園として指定。

平成7(1995)年5月 村社協運営障害児母子通園施設・ふたば園との交流保育スタート。

平成21(2009)年 インフルエンザの流行によりふたば園との交流保育が一旦休止。

### \*対象児

S・Nさん(5歳児でいご組)・平成30年2月28日生まれ 満5歳2ヵ月(令和5年4月現在)

4歳児の5月から途中入園。5歳児の途中で障害児保育となる。先に入園していた弟の事をよく気にかけて弟を激愛しているのが伝わるほどスキンシップがある。クラスでは気の合う友達との遊びを好むが、自分の思いが通らないと、手出しがあり、痙攣を起して泣きわめく姿があるため、保育士の仲立ちが必要。少しずつだが、他児の思いも受け入れられるようになり、トラブルも減ってきた。構成遊び(ラキュー)や粘土、折り紙等、手先を器用に使い説明書を解読しながら作品を作り、自分で構成して作り上げる事もできる。好きな遊びをする際には集中力もあるが、集会や気の乗らない話し合い等にはよそ見や他児へのちよっかい、じっとできず、体の動きが大きくなる為、保育士が側について配慮が必要。初めての場所に緊張したり、人見知りもある。緊張から注意散漫になり指示が通りにくくなるので戸外活動の際には常に気にかけて対応していた。

ゆたか小学校、情緒障害特別支援学級へ就学。

## 園だより『大地』

- \*目的
  - ・日頃の保育の様子や子ども達の成長ぶりを楽しい記事を通して保護者へ伝える。
  - ・保育園と家庭との共通理解を深め、子どものよりよい成長を促していく。
  - ・保育情勢、社会情勢、郷土の様子などを知る。
  
- \*発行日程
  - ・毎月末には来月の行事予定、誕生児紹介、今月のうた、告知等を発行
  - ・毎月末には来月の献立、郷土行事、食育・保健情報等の発行
  - ・随時(不定期)だが、行事近くにはお知らせや報告、クラスからもお便りを発行
  - ・毎月初めに1回発行(大地学童クラブ)
  
- \*執筆内容
  - ・各クラス遊びや生活の様子・お知らせ
  - ・行事の様子(遠足、運動会、発表会、保育面談の様子など)
  - ・地域のできごと
  - ・全体へのお知らせ(各行事への案内文など)
  
- \*執筆担当
  - ・献立と新聞記事やお知らせ等は栄養士・主任保育士・副園長が担当する。
  - ・新聞の切り抜きなどの保育情報は、全職員の資料提供でバラエティーに富んだ内容構成に努める。
  - ・行事のお知らせは毎月の係が責任をもって担当する。
  
- \*執筆方法
  - ・パソコンで執筆。
  - ・執筆フォーム(ヒナ型) 本文明朝体 10.5ポイント、1行50文字、51行、  
余白上左20mm、下15mm、右10mm紙面幅横18cm×縦25cm
  - ・記事を書き終えたら必ず第三者に目を通してもらい、間違いがないか確認する。
  - ・企画⇒執筆⇒校閲⇒整理⇒印刷⇒配布⇒読後感⇒反省⇒次への展開
  
- \*経過
  - ・R5・4/13付 第10948号よりR6・3/28付 第11056号まで不定期に発行する。
  - ・平成21年度、園長・副園長・職員の話合いのもと、日刊発行を変更し不定期での発行となる。平成22年度以降は個別記録の充実を図ることを最優先のねらいとして取り組むこととし、毎月第2週・第4週の発行。
  - ・保護者支援の一環としても大きな役割を担っていることを意識し、業務負担のないよう発行ができるよう、平成30年度より月1回の発行となる。
  - ・諸行事などの記事には写真を掲載する。
  
- \*次年度の取り組み
  - ・保育園と家庭を結ぶ架け橋であり、日々の保育の情報提供としての役割を持つ。  
今一度、園だより発行の目的を職員一人一人が理解・考慮した上で、発行の手立てを工夫する。
  - ・保護者から直接の声も聞かれる等、また、内容を検討し、保護者が読んで楽しめるような(読みたくなるような)紙面づくりに努める。
  - ・令和5年2月27日より保育ICTシステム『コドモン』を導入。令和5年4月より紙媒体での園だより発行から、コドモンでの配信となった。次年度も情報発信力強化に努めていく。

# 大地保育園自己評価

「保育の自己評価書」を事務所に備えています

主任保育士	.....	宮城千秋
0歳児 ちゅうりっぷ組	.....	久田のぞみ
1歳児 すみれ組	.....	伊佐知浩
2歳児 たんぽぽ組	.....	外間奈沙
3歳児 きく組	.....	森山 梢
4歳児 ひまわり組	.....	金城 有希奈
5歳児 でいご組	.....	糸数 優

大地保育園の「自己評価」を公示します  
一人ひとりの個性を伸ばし、子ども達が  
すくすく成長する保育環境づくりに精進

保育所保育のガイドラインともいうべき厚生労働大臣が定める『保育指針』に基づいて、1年間の保育の総まとめとして、職員一人一人が自己評価を実施しました。

保育指針では、職員自らが行う保育実践の改善のための自己評価とされ、保育においては、計画、実践、省察、改善、計画を繰り返して、保育の質を向上させるたゆまない努力の重要性が明記されています。それを具現するため『保護者や地域社会に、当該保育所が行う保育の内容について、自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない』と規定されています。

# 保育所自己評価

2 十分理解している(十分できている)

1 理解している(できている)

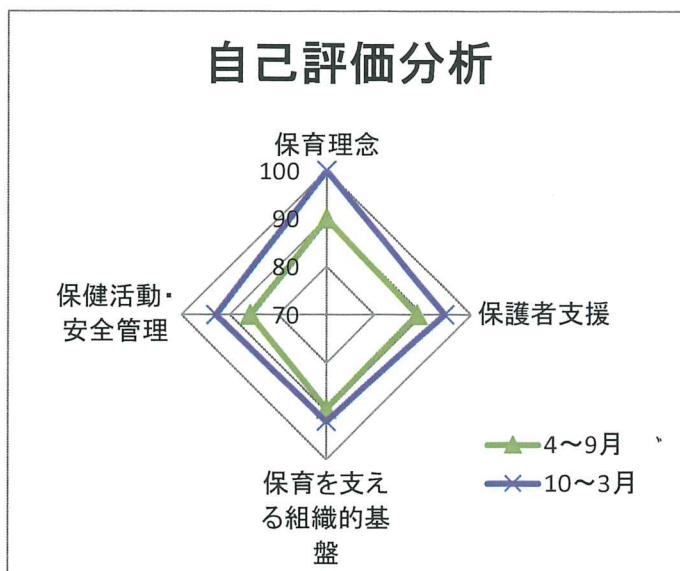
0 努力が必要である

項 目	評 価	
	4～9月	10～3月
<b>保 育 理 念</b>		
1 保育所保育指針は厚生労働大臣告示であり、法令として守るべき最低基準であることを理解していますか	2	2
2 保育所保育指針の基本原則を踏まえ、保育所の実情に応じ創意工夫を図り、保育所の質の向上に努めなければならないことを理解していますか	2	2
3 子どもの人権に十分配慮し、子ども一人一人の人格を尊重して保育を行っていますか	2	2
4 保育所保育指針と保育理念・目標の関係を理解し、全体的な計画を立てていますか	2	2
5 全体的な計画は保育所保育指針のすべてを充足するように保育所の方針・状況を考慮し、施設長の責任の下、全職員で編成にあたっていますか	1	2
合 計 10点中→	9	10
<b>保 護 者 支 援</b>		
6 保育所は児童福祉法第48条の3に基づき、保育に支障がない限り保育所機能の開放「相談や援助」「交流の場の提供」「情報の提供」等の支援を地域の保護者等に行うよう努めなければならないことを理解していますか	1	1
7 保護者等に各計画がわかりやすく説明した資料を作成することによって、より理解しやすいような工夫を行っていますか	2	2
8 家庭や地域との連携を図りながら、入所児の保護者及び地域の子育て家庭に対する支援を行い、保育の内容を適切に説明するよう努めていますか	1	2
9 保護者の話を十分に聴き、思いを受け止めながら信頼関係を構築することができるよう日々心がけていますか	2	2
10 保育士の考えを押しつけるのではなく、共に考えていく中でそれぞれの保護者、家庭が自ら選んで解決していけるよう配慮していますか	2	2
11 園だよりや掲示板等を利用し、地域の育児情報や社会参加の情報等、積極的に発信していますか	2	2
12 行事等を通して親子で共通の体験をすることで、一人一人の子どもの成長を喜び、楽しみを共有できるようにしていますか	2	2
13 保護者に伝達した文書や園でのこれまでの感染症への対処法を保存し、併せて専門的知識を加え感染症対応マニュアルとして作成し活用していますか	2	2
14 苦情受付の窓口を設置し、第三者委員の選任をして、保護者への周知を行っていますか	2	2
合 計 18点中→	16	17
<b>保 育 を 支 え る 組 織 的 基 盤</b>		
15 子どもの最善の利益を考慮し経営や業務の効率化と改善に向けて、人事、労務、財務等の面から分析を行っていますか	2	2
16 組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいますか	1	2
17 働きやすい職場の雰囲気やコミュニケーションがうまく取れるような具体的な配慮を組織として行っていますか	2	1
18 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項に基づいて、経営改善を実施していますか	2	2
19 事業計画をわかりやすく説明し、職員も参画している(意識を高める)ことが理解しやすいような工夫を行っていますか	1	2

20 保育所は保育内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならないことを認識していますか	2	2
21 個人情報適切に取り扱いつともに、保護者の苦情に対し自己判断で回答せず、責任者への報告をし、解決のための話し合いができていますか	2	2
22 虐待が疑われる場合は、その情報を速やかに園長に報告する体制が整い、園内職員で共有していますか	2	2
23 その場合、地域の児童相談所、福祉事務所、児童委員、保健所等の関係機関との連携を図る体制が整っていることを具体的に認識していますか	2	2
24 職員間において、常に報告、連絡、相談の体制が機能していますか	2	2
25 保育の質の向上について、職員の意見を取り入れるための具体的な取り組みを行っていますか	1	2
26 保育の質に関して園のよさや課題を把握し、改善のための具体的な取り組みを明示して指導力を発揮していますか	1	2
27 保育の専門性を高めるために、一人一人が研修や自己研鑽を積むとともに、職員間での知識を図り協働性に努めていますか	2	2
28 研修会等への積極的、計画的参加をする中で、新たな課題と情報収集ができていますか	2	2
29 研修を終了した職員は、研修報告書を作成し、研修内容を発表する機会を設けていますか	2	1
30 子どもが地域の行事や活動に積極的に参加する機会や、職員やボランティアが協働する体制が整っていますか	2	1
31 パンフレットや要覧等を地域の保護者に配布(その他ホームページ等、誰もが容易に入手できる広報媒体)するとともに、園外向けの掲示板やポスター等で、園の様子や行事等について、地域の人に見てもらえるようにしていますか	2	2
32 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)を整備していますか	2	2
33 苦情を受けつけて解決を図った記録が適切に保管されていますか	2	2
合 計 38点中→	34	35
<b>保健活動・安全管理</b>		
34 保育所は子ども一人一人と集団全体の健康及び安全の確保に努めなければならないことを理解していますか	2	2
35 子どもの健康状態を定期的、継続的に把握し、年に2回の定期健康診断を行い、保護者に伝達していますか	2	2
36 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じていますか	2	2
37 災害時に対応できるマニュアルがあり、対応体制が決められていますか	2	2
38 利用者及び職員の安否確認の方法が決められ、全職員に周知されていますか	1	2
39 職員に対して、安全確保、事故防止に関する研修を行っていますか	1	1
40 保育室や園庭、遊具の安全点検を日常的に実施し、消防計画に基づく避難訓練の徹底と交通安全の危険予知で、職員一丸となって安全保育に万全を期していますか	2	2
合 計 14点中→	12	13



分析項目	4～9月	10～3月
保育理念	90	100
保護者支援	89	94
保育を支える組織的基盤	89	92
保健活動・安全管理	86	93



#### ※ 保育園としての課題は何ですか？

- ・新型コロナウイルス感染症による様々な制限が緩和され、少しずつ前の生活に戻る中、今年度は保育の見直し(環境や行事の在り方)を専門リーダーを中心に行った。職員全体で共通理解を図りながら保育を行っていく。
- ・職員が働きやすい環境作り(業務の負担軽減やシフトの見直し等)を引き続き行い、職員がやりがいを感じられるようにしていく。
- ・研修を受けやすい雰囲気、体制を作っていく。
- ・事故防止、安全管理について全職員で意識を高めていく。

#### ※ その課題にどう取り組みますか？

- ・子どもの主体性を大切にしながら、日々の保育を振り返り、子どもにとってよりよい育ちに繋げるにはどうしたらよいか等、職員それぞれが意見を出し合い、語り合える雰囲気、話し合いの場を設けていく。
- ・ICT(コドモン)を活用し、業務の負担軽減を図りながら、職員間でのコミュニケーションを大切に働きやすい雰囲気を作っていく。
- ・研修を受けやすい環境を整え、職員全体が自己研鑽し保育の質の向上へ繋げていく。
- ・チェックリスト等を活用しながら、全職員で安全保育に努めていく。

## 大地学童クラブ

共働き家庭にある小学校児童の鍵っ子を対象とした『放課後児童対策事業』であり、安心のびのび健やか保育をモットーにしながら、異年齢児交流・体験活動を取り入れて放課後活動の充実を図っている。

### <曜日毎の活動>

- 【月曜日】…宿題、室内や戸外にて自由遊び
- 【火曜日】…宿題、室内や戸外にて自由遊び、スイミングスクール（希望者）
- 【水曜日】…宿題、室内や戸外にて自由遊び
- 【木曜日】…宿題、室内や戸外にて自由遊び
- 【金曜日】…宿題、室内戸外にて自由遊び
- 【土曜日】…室内遊び（16時閉所）

### <夏休み活動 8月1日～8月24日>

- 【7/21】KYT（危険予知トレーニング、水遊びでの危険について）を行い、自分自身で身を守る事を学んだ
- 【7/25】工作（うちわ作り）を行い、イラストを描いたり工夫して模様を付けた
- 【7/26】ゆたか小学校、プールを借用し、水遊びを行った
- 【7/27, 28】Tシャツデザイン PCを使って、自分好みのイラストなどを選びTシャツにデザインした
- 【7/31】工作（プラ板作り）を行い、好きなイラストを描き、キーホルダーを作った
- 【8/2】おやつ作り（パフェ）トッピングを選んで、オリジナルパフェを作った
- 【8/7】工作（スノードーム作り）を行い、好みの色合いになるよう、工夫して工作を楽しんだ
- 【8/10】調理活動（冷やし中華）
- 【8/14】紅型体験（色差し）筆と染粉を使い、細かい作業を行った
- 【8/15】レクレーション大会 ゆたか小学校体育館を借用し、球技、かけっこ等、体を動かした
- 【8/16, 17, 18】大地まつり 2日間の準備期間でグループで出店内容を決め、ゲームの準備を行った 3, 4年生がリーダーとなって1, 2年生をリードした
- 【8/22】空手会館見学
- 【8/23】おやつ作り（ヒラヤーチー）

☆豊見城市内や近隣小学校の施設を活用し、体験や見学を行った。

### <その他の活動>

- 【8/1 3/8】避難訓練 1回目（避難場所、方法確認）、2回目（地震）を行い避難する方法・約束を確認し、避難意識を高めていった。
- 【12/18】さつまいも収穫
- 【1/4】お正月遊びとして、福笑いや凧あげを行い楽しんだ
- 【3/28】お別れカレーパーティー カレー作りを行った 材料を買いに行ったり、友達と協力して調理活動に取り組んだ
- 【3/29】お楽しみ会 退所児童の紹介を行いながら、ゲームを行った 特に、リーダー探しゲームが盛り上がった

<開設実績日数> 287日

# 令和5（2023）年度 事業報告書 （大地学童クラブ）

期	反省及び実施報告
<p>I 期</p> <p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新1年生と進級児童の新生活がスタートする。一人一人の情緒の安定と、皆がのびのびと楽しく過ごせるような環境作りに配慮していった。</li> <li>・遊びや活動を通して仲間意識を深め、集団生活に必要なルールや基本的な生活習慣が身に付くよう働きかけていった。</li> <li>・友達との関わり（異年齢、統合保育）の中で、思いやりの心で交流できる人間関係作りに配慮した。</li> </ul>
<p>II 期</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>夏休み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KYT（危険予知トレーニング）を取り入れ、危険から身を守る事をみんなで考えていった。</li> <li>・空手会館・資料室見学を行った。徒歩で移動し、資料室の展示物を見学、伝統文化である空手について興味を持って見学できた。</li> <li>・おやつ作り、調理活動 グループごとに協力して、おやつ作りに取り組んだ。上級生が中心となり役割分担を行い作業を進めていた。</li> <li>・Tシャツデザイン PCを使って、自分好みのイラストなどを選びTシャツにデザインした。</li> <li>・大地まつり 射的屋、くじ引き屋、紐くじ屋、輪投げ屋のグループに分かれ、各ブースを担当しつつ交代しながら楽しんだ。</li> <li>・紅型体験（色差し）筆と染粉を使い、細かい作業を行った。完成したトートバックを日常でも活用している。</li> <li>・レクリエーション大会 ゆたか小学校体育館を借用し、球技、かけっこ等、体を動かした。 ☆豊見城市内や近隣小学校の施設を活用し、体験や見学を行った。</li> </ul>
<p>III 期</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月10日、11日、2日間の秋休み。レクリエーション大会 ゆたか小学校体育館を借用し、球技、リレー等、体を動かした。</li> <li>・11月1日から次年度の学童クラブ申し込み用紙を配布開始。次年度の学童クラブ申し込み受付を11月15日～30日としていった。承認・不承認通知1月4日郵送。</li> <li>・さつまいもの収穫を行った。スコップや手を使い、5～6個収穫できた。土で団子を作って遊ぶ児童もいて、土との触れ合いも楽しんでいた。</li> </ul>
<p>IV 期</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お正月遊びとして、福笑いや凧あげを行い楽しんだ</li> <li>・お別れカレーパーティー カレー作りを行った。材料を買いに行ったり、友達と協力して調理活動に取り組んだ。</li> <li>・お楽しみ会 退所児童の紹介を行いながら、ゲーム（フラフープ下ろし、リーダー探し、ビンゴ）を行った。特に、リーダー探しゲームでは、リーダー、オニになりたがる児童が多く盛り上がった。</li> <li>・一年を通して異年齢児交流を楽しみ、遊びや活動の中で刺激し合いながら思いやりの心が育っていった。</li> </ul>

# 監査報告書

令和6（2024）年5月29日

社会福祉法人そてつ福社会

理事長 嘉数 成勇 殿

監事 新垣一美  
監事 崎濱洋介

私たち監事は、令和5（2023）年4月1日から令和6（2024）年3月31日までの令和5（2023）年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

## 2 監査の結果

### （1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### （2）計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

# 2024 (令和6) 年度 事 業 計 画

社会福祉法人そてつ福祉会  
大地保育園・大地学童クラブ

## 1、重点事項

- (1) 保育園および学童の園舎内外の安全対策・危険防止対策・より良い保育環境醸成に配慮した環境整備
- (2) 保育園および学童の施設運営マニュアル(とくに危機管理)の策定周知と、円滑な運用体制の確立
- (3) 保育士処遇改善・学童支援員処遇改善、専門・部門リーダー等の役割分担の明確化
- (4) 保育室・プレイホール・学童支援室・子育て支援室・屋外遊戯場等の増改築整備事業の計画的推進

## 2、運営の基本方針 (法令・通知・監査の是正指摘等に基づく取り組み方針)

- (1) 厚生労働大臣告示の保育指針熟知と日常保育への反映・取り組みの徹底に努める。
- (2) 保育計画(保育指導課程)および指導計画(年案・期案・月案・週案・日案は、乳幼児の成長発達を的確にとらえて、立案作成し活用する。5歳児保育は小学校との連携を念頭に保育にあたる。
- (3) 保育日誌(日案)は、クラス保育の様子とともに、園児の日々の保育経過記録が含まれることに留意し、児童票・自己評価の作成につなげる。自己評価は年度末に保護者や地域に公示義務あり。
- (4) よりいっそう保育の質の向上を図るために、『計画・実践・評価・改善』を繰り返し、自己評価を深める。
- (5) 職員の資質向上を図るため、積極的に研修会参加を促し、園内研修では、保育・食育領域の実践事例研修を定例化し自己評価につなげる。研修については保育指針でも強調されることとなった。資格取得督励。
- (6) 社会的に関心が高まっている、児童の虐待防止に全職員が一丸となって取り組む。そのために日常的に情報の共有化をはかり、関係機関との連携強化につとめ、指導助言を仰ぐ。
- (7) 延長保育・発達支援児保育・地域活動事業等の充実、保護者地域支援のネットワークづくりに努める。
- (8) 子どもの成長発達に見合った行事の企画運営を見直し、園だより『大地』の発行体制、保育事務の合理化等、負担軽減の視点で、働き方改革を日常的に取り組む。保育参観位置付けを明確に。保育士ICTシステム「コドモン」の活用。
- (9) 保育室や園庭・遊具の安全点検を日常的に実施し、消防計画に基づく避難訓練の徹底、交通安全指導等の危険予知活動で、安全保育に万全を期す。防災意識の向上。

## 3、職務分担組担当表 保育の計画等 (別葉)

### \* 法人がめざす保育理念

- \* 一人ひとりの個性を大事にする保育がモットー。行事中心・一斉保育に陥らないゆとりの個性重視保育
- \* 仕事の簡素合理化・職員は残業0・仕事を家庭に持ち帰らない・有給休暇残0督励。保育が大好き集団

保育目標 『生命を大切に創造性ゆたかな子どもの育成』

創設の誓い  
=1980(昭和55)年4月1日=

子ども像 ・ たくましく 元気な やさしい子

保育者像 ・ 子どもと遊び みんなで取り組む 大地の保育

保育園像 ・ 自然と触れ合い 伸び伸び育つ 明るい保育園

今年度は45周年 課題 子育て支援室創設、学童待機解消、近隣地域交流、卒園児生交流

# 全体的な計画

<p><b>保育理念</b></p> <p>社会福祉法そして福祉の運営する大地保育園は、児童福祉法に基づき「保育を必要とする」乳幼児の保育を行うが、保育にあたっては子どもの人権や主体性を尊重し、児童の最善の利益のために日夜、保護者や地域社会と力を合わせ、児童の福祉を積極的に増進し、あわせて地域における家族援助を行う。なお、児童の福祉を積極的に進めるために職員は、豊かな愛情をもって授け、児童の発達向上のため知識の修練と技術の向上に努め、家族援助のために常に社会性と良識に働きかけ相互に啓蒙するものである。</p>		<p><b>保育方針</b></p> <p>保育方針は、「保育所保育指針」を依拠して、職員が保育に専心専念の姿勢にあり、子どもや家庭にむかへて保育を行い、人権を尊重し、ブラバナーを保護することを第一義とする。また、常に児童の幸福を願うために保護者から意見や要望があれば真摯に傾聴し、不明なところがあれば平穏に説明をして、よりよい保育のために努力研鑽することを基本とする。</p> <p>1.子どもの健康と安全を基本にして保護者の協力の下に家庭養育の補完を行う。  2.子どもが健康安全で情緒の安定した生活ができる環境を創出し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。  3.豊かな人間性をもった子どもを育成する。  4.乳幼児などの保育に関する要望や意見、相談に際しては、わかりやすい用語で説明をして、公的施設としての社会的責任を果たす。</p>		<p><b>保育目標</b></p> <p>「生命を大切に創造性豊かな子どもの育成」子どもを「たくましく元気なやましろ」保育園 自然とふれあい伸び伸び育つ明るい保育園 保育者 子どもと遊び、みんなで取り組む大地の保育</p> <p>&lt;元気な子ども&gt;  ・歩く、走る、跳ぶなど戸外での活動を十分に楽しむ。  ・健康で十分な養育ができるよう養育を身に付ける。  ・運動や休息、栄養をとり、規則正しい生活を送り、自ら安全を守るような生活習慣及び態度を身に付ける。  ・つくろいだき器の中で情緒が安定し、意欲的に遊ぶ力を育む。  &lt;仲の良い子ども&gt;  ・積極的に遊びや生活ができるよう、自主協調といった社会生活の基礎となるような態度を養う。  ・相手の人権を尊重し思いやりのある心育てる。  ・身近な知恵のできる子&gt;  ・食事、排泄、睡眠、着脱などの正しい習慣を振り返り自立の芽生えを養う。  ・身の回りの簡単なことは、自分で処理する力を育む。  &lt;考える子ども&gt;  ・生活の中で言葉への興味や関心を育て、豊かな想像、思考力、表現力の基礎を培う。  ・自然の世界に多くふれ、豊かな体験を通して自分なりに物を見たり、感じたり考えたりして、豊かな感性と創造性の芽生えを培う。  ・自然に対する知的興味や関心を育て、思考力、認識力を培い、科学的に観察する力を養う。</p>								
<p><b>社会的責任</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児保育を含む3歳未満児の受け入れ推進。</li> <li>・延長保育への対応。</li> </ul>		<p><b>人権尊重</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを一人の人として尊重し、自己肯定感をもてるように努める。</li> </ul>		<p><b>説明責任</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に、当該保育所が行う保育の内容を適切に説明する。</li> </ul>		<p><b>情報保護</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正当な理由なく利用者又はその家族の情報を漏らすことのないよう、職員に対し、定期的に研修を行う。</li> <li>・情報の管理を徹底し、小学校・その他機関に対して子どもの情報提供を行う際には、あらかじめ文書によって子どもの保護者の同意を得る。</li> </ul>		<p><b>苦情処理・解決</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情対応窓口、担当者、苦情解決責任者、第三者委員の設置を行うとともに、苦情解決体制を全職員・利用者へ周知する。</li> </ul>				
<p><b>年齢別保育目標</b></p>	0歳児	・生理的欲求を表現し、周囲の人に興味や関心をもつ。		3歳児	・基本的な生活習慣が身に付き、保育士等や友達と一緒に積極的に活動する。							
	1歳児	・基本的な運動機能が発達し探索意欲が高まる中、言葉の習得とともに自己主張をする。		4歳児	・意欲的に遊びや生活に取り組み、主体的に行動し充実感を感じる。							
	2歳児	・基本的な生活習慣がほぼ身に付き、言葉の発達とともに友達との関わりを広げていく。		5歳児	・意欲的に環境に関わり、仲間と協調することを喜びながら自立心を高める。							
<p><b>保育の内容</b></p>												
<p><b>項目</b></p>		0歳児	<p><b>項目</b></p>	1歳児	<p><b>項目</b></p>	2歳児	<p><b>項目</b></p>	3歳児	<p><b>項目</b></p>	4歳児	<p><b>項目</b></p>	5歳児
<p><b>養護</b></p>	<p><b>生命の保持</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応急的な関わりを通して生理的欲求を十分に満たす。</li> </ul>	<p><b>生命の保持</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護的に安全な環境の中で情緒が安定し、快適な園生活を送る。</li> </ul>	<p><b>生命の保持</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探索活動が増し、いろいろな活動に興味・関心が広がる。</li> </ul>	<p><b>生命の保持</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に必要な身の回りのことが身に付く。</li> </ul>	<p><b>生命の保持</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムが整い、基本的な生活習慣が身に付く。</li> </ul>	<p><b>生命の保持</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一日の生活の流れを見通しながら基本的な生活習慣を導く。</li> </ul>						
	<p><b>情緒の安定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼関係を築き、保育士等とのスキンシップを楽しむ中で情緒が安定する。</li> </ul>	<p><b>情緒の安定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士等との信頼関係を基盤に気持ちを受け止めてもらうなかで、安心感をもって過ごせるようになる。</li> </ul>	<p><b>情緒の安定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自我が育ち、安全な環境の中で快適に過ごす。</li> </ul>	<p><b>情緒の安定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲が高まる。</li> </ul>	<p><b>情緒の安定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな体験活動を通して豊かな感性が育つ。</li> </ul>	<p><b>情緒の安定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めることと自分への目標をもつ。</li> </ul>						
<p><b>教育</b></p> <p><b>三つの視点</b></p>	<p><b>健やかに伸び伸びと育つ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生的で安全な環境の下で、体罰をなく信頼関係が築かれる生活リズムをつくり快適に過ごす。</li> </ul>	<p><b>健康</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、排泄、睡眠などの生活リズムが整い、体を動かして元気に遊ぶ。</li> </ul>	<p><b>健康</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣がほぼ自立し、自らやってみようとする。</li> </ul>	<p><b>健康</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かす楽しさを味わい、自分から関わりを広げていく。</li> </ul>	<p><b>健康</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に見通しをもって行動し、体を動かすことを喜ぶ。</li> </ul>	<p><b>健康</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。</li> </ul>						
	<p><b>身近な人と気持ちよく通じ合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の大人との関わりから関心や興味を示す。</li> <li>・「誰かから話しかけられたら？」など保育士等とのやり取りを楽しむ。</li> </ul>	<p><b>人間関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の友達に興味をもつて関わり、遊びや体験を広げていく。</li> </ul>	<p><b>人間関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と共感することを喜び、遊びの中でルールがあることを受け入れる。</li> </ul>	<p><b>人間関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との関わりが深まり、生活や遊びを通して「まじり」の大切さを知る。</li> </ul>	<p><b>人間関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな活動を友達と経験する中で、一緒にいることの喜びを感じる。</li> </ul>	<p><b>人間関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団で生活する中で、仲間一人一人としての自覚を育て、自立心、人と関わる力を養う。</li> </ul>						
	<p><b>身近なものに関わり感性が育つ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的な雰囲気からいろいろなものに興味を示し探索範囲が広がる。</li> <li>・保育士等とのつながりや下言葉、手遊び、音楽などを通じて、あつたり、体全体で表現する。</li> </ul>	<p><b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのいろいろなものに興味や関心をもち、探索活動を十分に楽しむ。</li> </ul>	<p><b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好奇心が旺盛になり、身近な自然・事象に興味をもつ。</li> </ul>	<p><b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な環境に興味をもち、自分から関わり生活を広げていく。</li> </ul>	<p><b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や地域の活動を通して郷土の文化・音楽に触れ、感性を豊かにする。</li> </ul>	<p><b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や地域の活動に自ら関わり、発見を楽しんだり考えたりし、それを生活に取り入れようとする。</li> </ul>						
	<p><b>身近なものに関わり感性が育つ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的な雰囲気からいろいろなものに興味を示し探索範囲が広がる。</li> <li>・保育士等とのつながりや下言葉、手遊び、音楽などを通じて、あつたり、体全体で表現する。</li> </ul>	<p><b>言語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単語から二語文を話し始め、友達や大人を相手に話すことを楽しむ。</li> </ul>	<p><b>言語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや要求を言葉で表現したり聞いたりする。</li> </ul>	<p><b>言語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中で興味あることや思っていることを言葉で表現したり、イメージする。</li> </ul>	<p><b>言語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経験したことや思ったことを伝える楽しさを味わい、聞くことへの意欲が育つ。</li> </ul>	<p><b>言語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で考えたことや経験したことを伝え合い、相手の話を聞く力を身に付けていく。</li> </ul>						
<p><b>食を営む力の基礎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心できる環境の中で授乳や食事を営む。</li> <li>・一人一人の発達に合わせた離乳食を進め、食べる意欲を育てる。</li> </ul>	<p><b>食を営む力の基礎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事のリズムを整える。</li> <li>・自分の芽生えを大事にし、食べる意欲を育てる。</li> </ul>	<p><b>食を営む力の基礎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中で体験したこと、興味があることなどを表現する。</li> </ul>	<p><b>食を営む力の基礎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中で興味あることや思っていることを言葉で表現したり、イメージする。</li> </ul>	<p><b>食を営む力の基礎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に食べる楽しさを知る。</li> <li>・いろいろな素材に慣れ、食事のマナーや食具の使い方を覚える。</li> </ul>	<p><b>食を営む力の基礎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に食べる楽しさを知る。</li> <li>・食べ方や食事のマナーを身に付けていく。</li> </ul>	<p><b>食を営む力の基礎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物と体の関係に関心をもつ。</li> <li>・食べ方や食事のマナーを身に付けていく、自ら行う。</li> </ul>						
<p><b>健康管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応。</li> <li>・健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握。</li> <li>・年2回の検診による健康診断(内科健診・歯科健診)の実施。</li> <li>・年2回の尿検査、年1回の視力検査の実施。</li> <li>・年1回職員健康診断及び、毎月の検便(栄養士・調理員・調理担当者及び食事介助をする職員)</li> </ul>												
<p><b>環境・衛生管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温度・湿度・換気・採光・音などの環境を適切に保持。</li> <li>・施設内外の設備・用具等の清掃及び消毒。</li> <li>・感染症予防策指針の作成と実施及び保護者との情報共有。</li> </ul>												
<p><b>安全対策・事故防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月消防訓練の実施。</li> <li>・施設内外の設備・用具等の安全管理及び自主点検。</li> <li>・年1回の消防火訓練の実施。</li> <li>・年2回外部業者による消防設備点検。</li> </ul>												
<p><b>保護者への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに関する情報提供の場や交流の機会を設ける。また相談・支援を行うことで子どもと保護者を支援する。</li> </ul>												
<p><b>地域等への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の乳幼児を対象とした園庭開放の実施。</li> </ul>												
<p><b>地域行事への参加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちびっこクレーンアドベンチャー出発式・クレーン作戦(月1回)・わらびんちやあそびフェスティバル・消防出初式・老人保健施設訪問(養生の里)</li> </ul>												
<p><b>研修計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所保育指針に関する園内研修・園外研修への参加(園外研修含む)・園内における個別保育、障害児保育等のケース会議(月1回)・研修伝達報告会・キャリアアップ研修</li> <li>・日々の保育計画・実践・評価のサイクル確立のための研修</li> <li>・園外研修への計画的な参加</li> </ul>												
<p><b>小学校との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」への理解を深め、一人ひとりの育ちを支援する。</li> <li>・園児と児童の交流を通じて、小学校生活に期待感をもてるような学びの接続を図る。</li> </ul>												
<p><b>自己評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所保育指針の熟知。</li> <li>・危機管理マニュアルの見直し、習得。</li> <li>・保育士等の評価(自己評価と子どもの評価の建立)。</li> <li>・保育所の評価(全体の反省による全体計画等の反映)。</li> </ul>												

園長	主任	担当
村社 真知子	宮城 千秋	金城 ルリ子

年間目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健的で安全な環境の下で、生命の保持と生活の安定を図る。</li> <li>・安心できる保育士等との応答的な関わりの中で、情緒の安定を図りながら信頼関係を築いていく。</li> <li>・個人差に留意し、離乳や歩行の完成、発語の意欲を援助する。</li> <li>・落ち着いた雰囲気の中で、聞く・見る・触れるなどの経験を通して、身の回りへの興味・好奇心の芽生えを育む。</li> </ul>				

※ ◎…低月齢(6か月未満) ◇…高月齢(6か月～1歳未満)

		1期 (4～5月)	2期 (6～8月)	3期 (9～12月)	4期 (1～3月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>◎泣いたり、笑ったり、体を動かして自分の欲求を表出する。</li> <li>◎抱っこで見つめ合う、ニコリと笑顔をかかず、優しく話しかけてもらうと情緒が安定する。</li> <li>◎短い眠りをくり返し、徐々に睡眠のリズムが安定してくる。</li> <li>◇人見知りが始まり、後追いをするようになったり親しい大人に愛着を示す。</li> <li>◇指さしや喃語で意欲を伝えようとする。</li> <li>◇移動運動が盛んになり、探索活動を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎寝返りやハイハイ、腹ばいからお座りへと姿勢を変えたり体を移動したりする。</li> <li>◎手、指全体や手の平を使って、ものをつかむような玩具で遊ぶ(つかむ、触れる、舐めるなどの経験)。</li> <li>◎よく抱いてくれる人を見ると、自分から体をのりだして抱いてもらいたがる。</li> <li>◇保育士等の優しい話しかけや触れ合いを喜ぶ。</li> <li>◇保育士等に見守られ、玩具や身の回りのものに触れて遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎まとまった時間にぐっすり眠れるようになり、生活のリズムが整ってくる。</li> <li>◎名前を呼ばれると振り向いたり、「バイバイ」など大人の仕草を真似しようとする。</li> <li>◎ハイハイ、つかまり立ち、伝い歩きなど移動運動が盛んになり、探索活動が広がる。</li> <li>◇自分からよく食べ、離乳食から幼児食にかわる。</li> <li>◇保育士等と一緒に絵本を見ながら、簡単な言葉のくり返しや模倣を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎一人で立ったり、歩くようになり、探索の範囲が広がる。</li> <li>◎身近な人のやることを真似したりする。</li> <li>◇手先、指を使って、ものの操作をしたり、玩具を触ったりするなど、探索行動や興味が活発になる。</li> <li>◇大人との応答的な関わりの下、指さし、身振り、片言などを使って、自分の気持ちや要求を伝えようとする。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・◎ごくごく飲んで、ぐっすり眠る ～安心した環境で～</li> <li>・◇抱っこ、大好き ～心地よい環境の中で～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・◎なんでも口で試したい ～物との関わり発見～</li> <li>・◇先生とあそび ～抱っこ、大好き～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・◎先生、みて、みて(指さし) ～興味が広がる～</li> <li>・◇おいしく食べて、よく眠る ～生活リズムが整う～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・◎歩くの大好き ～探索するの楽しいな～</li> <li>・◇ねえね、こっち見て ～好奇心がいっぱい～</li> </ul>
養護・教育	健康やかたに育伸	◎生理的欲求を受け止めてもらい、心地よく生活する。 ◇生理的、心理的欲求が満たされ、自ら体を動かす。	◎リズムが整いはじめ、安定して過ごす。 ◇歩く、見る、聞くなど、体を動かして遊ぶことを喜ぶ。	◎様々な食材や形態に興味をもち、手づかみで食べようとする。 ◎離乳食から幼児食に進み自分で食べようとする。	◎歩行が完成し探索活動や一人遊びを十分に楽しむ。 ◎様々な欲求に十分に伝えてもらい心地よく過ごす。
	身近な人と気持ちよく通じ合う	◎特定の大人にあやされ安心して過ごす。 ◇保育士等に親しみをもち、安心して遊ぶ。	◎保育士等に見守られながら感覚遊びを経験する。 ◇身近な保育士等に甘え、気持ちを受け止めてもらう。	◎優しい話しかけを喜び、指さしや喃語、絵本のやり取りを喜ぶ。 ◇保育士等と一緒に見立て遊びをしたり真似をしたりして遊ぶ。	◎歌や手遊びなどを一緒に楽しみ、共感する。 ◇要求や気持ちに共感し、子どもの姿を認め自我につなげていく。
	身近なものと関わり合う	◎あやし遊びなど、触れ合いを楽しむ。 ◇身近なものに親しみ、見たり、触れたりして自分から関わろうとする。	◎身近な物や玩具に興味をもち触れて遊ぶ。 ◇戸外で遊ぶことを喜ぶ(園庭、散歩など)。	◎戸外で遊び、心地よさを感じる。 ◇絵本を読んでもらい五感を味わい、言葉のくり返しを楽しむ。	◎自分からいろいろな環境に関わる。 ◇ものへの興味がわき「これは？」など簡単な言葉のやり取りを楽しむ。
環境構成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室や玩具を清潔に保ち、室温・湿度の調節や換気をこまめにする。</li> <li>・ゆったりとした雰囲気の中で優しく関わり、目を合わせ信頼関係を築いていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内に、安全なスペースを作り、自由に活動できる環境を整える。</li> <li>・子どもの欲求に丁寧に答え、言葉かけやスキンシップ、触れ合い遊びを通して、安心感や満足感が十分に得られるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の子どもの食事形態を把握して、体調や発達に応じて提供する。</li> <li>・伝い歩きや一人歩き等歩くことが楽しくなり、行動範囲が広がるので、保育室だけでなく他の場所でも伸び伸びと遊べるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でやりたい気持ちが十分に満たされるような環境を整えることで、満足感が得られるようにする。</li> <li>・子どもの欲求に丁寧に答え、言葉かけやスキンシップ、触れ合い遊びを通して安心感や満足感が十分に得られるようにする。</li> </ul>
保育士の援助・配慮		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの生活リズムを大切に、担当保育者が気持ちを受け止め、抱いたり、あやしたり、優しく語りかける事で生理的欲求を心地よく満たす。</li> <li>・安定した関わりから子どもの思いを汲み取り、共感し、言葉に置き換えて伝えることで喃語を引き出していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声や表情などから子どもの感情をよみとり、子どもの気持ちを言葉に置き換えて話したり、やり取りが楽しくなるように共感したりして関わる。</li> <li>・甘えや不安・欲求を受け止め、安定した気持ちで過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人に合わせて離乳食を進め「おいしいね」「もぐもぐ」と声をかけ、意欲的に食べられるようにする。</li> <li>・子どもの指差しには一つ一つ受け止め、言葉で意味付けし、様々な感覚を感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの思いを言葉に置き換えながら共感していくことで、やり取りの楽しさを味わい、言葉をお話そうとする意欲につなげる。</li> <li>・探索活動が盛んになるよう適切な言葉がけで発見や驚きが体験できるようにする。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが心地よく感じる園生活が送れるよう、家庭での入眠方法や好きなものを聞くなど家庭との連携を図る。</li> <li>・保護者からの相談に応じ、支援を心がけた関わりを大切にしながら信頼関係を築いていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園での普段の様子を知ってもらえるよう、保護者に対して保育参加などの機会を作る。</li> <li>・夏の感染症予防について知らせ、体調や食欲など、園や家庭の様子をきめ細かく伝え合う。</li> <li>・離乳食の内容や状況について伝え合い、家庭と一緒に進め、子育ての中で分からないことを気軽に聞けるような工夫をして不安をなくしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の感染症に注意しこまめに掃除や玩具の消毒をする。感染症については保護者にも知っていただき協力してもらう。</li> <li>・表情や指さし、言葉などに応じて応答したり、触れ合ったりしながら、子どもが自分の思いを受け止めてもらう喜びや安心感、心地よさを感じるような温かい関わりが大切であることを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階におけるイヤイヤ期を迎え、何でも自分でやろうとし、子ども同士の関わりやその中で起こるかみつきやひっかきについて丁寧に伝える。</li> <li>・小さな成長も見逃さずに伝え、仕事をしながらの子育てに自信がもてるように援助する。</li> </ul>
健康及び安全		<ul style="list-style-type: none"> <li>・視診・触診・検温は毎日行い、健康的に過ごすために感染症の早期発見、予防に努める。</li> <li>・身体測定(毎月)・健康診断(年2回)・歯科検診(年2回)・予防接種の確認</li> <li>・爪・頭髮・皮膚の清潔</li> <li>・室温・湿度・換気等の調整/感染症予・手洗いの指導</li> <li>・施設内の環境整備を行う。</li> <li>・室内外の安全確認</li> <li>・玩具消毒、点検</li> <li>・危機管理マニュアルの確認。</li> <li>・避難訓練(毎月)</li> <li>・乳幼児突然死症候群の予防に努める。</li> <li>・睡眠チェック</li> <li>・食品の衛生管理、アレルギーの確認。</li> </ul>			

園長	主任	担当
村社 真知子	宮城 千秋	富路 佐智代

年間目標

- ・周りの子どもの存在に気付き、関わりの中で自己の存在を確立しようとする。
- ・保育士等に慣れ、信頼感を抱いていくことで、安心して園での時間を過ごす。
- ・自分の思いや要求を、身振りや簡単な言葉を使って伝えようとする。

		1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)	
子どもの姿	子どもの姿	・自分自身の思いを、身振りや簡単な言葉を使って伝えようとする。 ・登園のときに保護者と離れるときは、泣いてしまうなど不安な様子があるが、日中は安定して遊んでいる子が多い。 ・保育士等にそばについてもらいながら、気に入った遊びを何度もおこなったり、戸外で自分の関心のあるものじゅっくりと関わり遊びこむ姿がある。	・トイレで排泄しようとしたり、オムツが汚れたことを伝える子もいるが、気にせず遊び続ける子もいるなど個人差がある。 ・戸外での活動を喜び、遊具や、砂・水で遊ぶことを楽しむ。 ・友達と関わろうとする子が増える一方で、自分の気持ちの表現がうまくできないため、もの取り合いなどになり手が出てしまうことがある。 ・生活の流れが分かり、保育士等と一緒にしようとする。	・食後のタオルやエプロンの片づけなど、簡単な身の回りのことを行うようになる。 ・遊びの中で、気の合う友達と一緒に過ごし、真似をしあう子が出てくる。 ・簡単な身の回りのことを自分でしようとする姿が見られる。	・散歩に行くときの支度や、食後に口を拭くなどの身の回りのことを、自分でやりたい意欲を持つ子が増える。 ・保育士等や気の合う友だちと一緒に遊ぶ中で、相手に言葉や身振り自分の気持ちを伝えようとする姿が見られる。	
	わらい	・せんせいだすき ～一緒に遊ぼう～	・おそとだすき ～たくさん体を動かしたい～	・じぶんでやりたい ～できるよ、みて～	・なんでもふしぎでももしろい ～もしろいがいっぱい～	
内容	養育	生命の保持	・一人一人の生理的欲求にタイミングよく応じ、園の生活になれていくようにする。	・一人一人の生活リズムに定着して心地よい関わりを把握し、夏季の健康管理を十分にを行い、快適に過ごせるようにする。	・季節の変化に伴って寒暖差に留意し、室温・温度の管理および衣服の調節などを行い、快適に過ごせるようにする。	・保健衛生・感染症予防に心がけ、環境を整え、健康的に過ごせるようにする。
		情緒の安定	・特定の大人への甘えやこだわりを受け止め、安心して遊べるようにする。	・夏の遊びの体験が楽しいものであるように、一人一人への援助を工夫する。	・こだわりや甘えなど、様々な感情の揺り戻しを受け入れ、支えられている安心感を十分に感じながら発揮できるようにする。	・保育士等に見守られ、安心できる生活の中で、意欲的に過ごせるようにする。
		健康	・身の回りの清潔を保つことへの心地よさを感じる。	・睡眠のリズムが定着し、保育士等がそばにいと安心して眠る。	・身の回りのモノやコトに関心をもち、自分でしてみようとする。	・食事は、食べたい物を自分で食べようとする。
		人間関係	・保育士等がそばにいと、安心して好きな遊びを楽しむ。	・保育士等の仲立ちにより、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。	・保育士等の見守りを感じると、安心して保育士等から離れて遊ぶを楽しむ。	・保育士等が同じ空間にいることを感じていることで、集中して遊ぶ。
		環境	・身近な環境を通して、興味・関心のあるものに触れ、楽しむ。	・生活用品や様々な玩具、ならびに自然物に触れ、その形や感触などに興味をもつ。	・秋の自然を味わうとともに、自然物を使って遊ぶ。	・生活用品や様々な玩具の特質をとりえ、子どもなりに多様な使い方を楽しむ。
		言葉	・保育士等からの話しかけを喜び、自分なりの言葉で答えようとする。	・日々の生活において、保育士等の言葉を理解し、自ら語ろうとしたり動作で表す。	・興味ある絵本を保育士等に読んでもらったり、一人で見たりする。	・絵本や物語の世界を味わい、イメージを子どもなりに行動や言葉で表現する。
表現	・保育士等の表情や言葉で気持ちを止めてもらい、自分の思いを伝える。	・様々な音楽を聴き、友達とともに全身を動かして遊ぶ。	・手遊びや季節の歌に合わせて歌おうとしたり、体を動かして楽しむ。	・指先を使って簡単なものをかいたり、折ったり、組み立てたり、イメージを膨らませて遊ぶ。		
食育	食育	・スプーンを使って食べようとするが、まだ上手に口に運べない子もいるのでさりげなく手を添え、自分で食べられた喜びを感じられるようにする。 ・食事中は静かな環境でゆったり食べられるようにすることを心がけ、一人一人に合わせて食事の時間を楽しくするような関わりをする。 ・食事前、保育士等の声掛けで手洗いをしようとする。	・楽しい雰囲気の中で食事をし、周りの子や保育士等がおいしく食べる様子を見ることで様々なものを食べてみようとする。 ・自分で食べようとする意欲や、スプーンやフォークなどを使おうとする姿をほめてもらい、食事の時間を楽しく過ごす。	・友達と楽しく食事をしながら最後まで自分で食べる喜びを味わえるように配慮し、食具の持ち方や、姿勢を伝えていく。 ・スプーンを持ち、自分で食事を食べる。	・食器に手を添えて食べられるよう、声をかけたり援助をする。 ・食べ物に触れたり、よく噛んで味わったりすることを通じて、食材への関心をもって自分から進んで食べられるようにする。	
	環境構成	・お気に入りの絵本を何度も読めるように、絵本は保育室内の目につきやすいところに置く。 ・保育室内をはじめ、子どもが遊ぶ場所は安全を保っていく。	・全身を動かして遊べるように、様々な遊具や用具を準備する。 ・遊びの中で自分で感触を試したり、変化を感じることができるよう、砂・土・絵の具・カップなどの素材や遊具を多く用意しておく。	・衛生管理には充分留意し、衣服の調整をしたり、ゆったり快適に過ごせるようにする。 ・ダイナミックな遊びと、ゆったりとした遊びの両方を楽しめるよう、時間や場所を区切る。 ・ごっこ遊びが広がるように、布などを準備しておく。また、遊びの中での見立ての広がりにあわせて都度必要な素材を増やしていく。	・2歳児クラスの保育室へ行くなどして、異年齢クラスとの交流の機会をつくる。 ・友達と同時に同じ遊びをする嬉しさを感じられるように、玩具などは同じものを用意するなどし、一緒に遊べる環境を作る。 ・歌などに合わせて楽器を鳴らして楽しめるように、鈴などの簡単な楽器を用意しておく。	
保育士の援助・配慮	保育士の援助・配慮	・保育士等にゆったりと話しかけてもらったり、膝に座って本を読んでもらうなどの関わりを通して、安心して過ごす。 ・一人一人の健康状態や身体発育状況を把握する。 ・個々の発達や一人一人の生活リズムを大切にしながら適切な援助をしていく。 ・子どもが喃語や片言で伝えようとする様子を受け止め、保育士等が応答的に関わることで、もっと話したい気持ちを育む。 ・保育士等と一緒に遊びながら子どもの気づきに共感することで、子どもが試行錯誤したり熱中したりできるように関わっていく。	・気温が高いと疲れやすくなるため、体調をくずさないように、水分の補給や休息を十分にとれるようにする。 ・子どもの甘えや依存の気持ちを受けとめ、代弁したり応答して信頼関係を築いていく。	・1日の中で気温差が大きいので、一人一人の体調に合わせて衣服の調節を行う。 ・秋の虫や植物から子どもが発見したこと共感することで子どもの興味関心を広げていく。	・感染症の広がりを防止するため、こまめに換気をしたり、玩具や室内の消毒を徹底する。 ・自我の育ちを見守り、身の回りのことをやりたい気持ちを受け止めて、言葉やかけたり褒めたりして意欲を自信につなげる。	
	家庭との連携	・家庭での睡眠や食事などの様子を連絡帳に記入してもらい、生活リズムの安定化を家庭と連携して行っていく。 ・個人面談では園での過ごし方を伝えたり、家での様子や今悩んでいることなどを聞いたりすることでいねいにコミュニケーションをとり信頼関係の構築を図っていく。	・園での子どもの様子や体調を保護者に伝えていねいに伝え、保護者の気持ちに寄り添う。 ・夏の暑さで睡眠不足や食欲不振などの心身の疲れが出やすい時期なので、子どもの睡眠の様子や食欲があるかどうかなど、いねいに情報を伝えようとする。	・手洗い・うがいのほか、睡眠などの生活リズムに留意し体調を整えるなど、感染症を予防する生活をお願いする。 ・寒暖差が大きい季節なので、体温調節がしやすいよう脱いだり着たりしやすい衣服の持参をお願いする。	・子どもが自分の気持ちを主張する姿に対しては、共感することでその気持ちに寄り添い落ち着きを取り戻せるように対話を重ねていることを伝える。 ・園での身支度などを自分でやろうとチャレンジする姿を伝えるとともに、家庭では甘えたい気持ちのときもあること、その気持ちに寄り添うことも大切であることを伝える。	
健康及び安全	<p>・健康的で安全な環境をつくり、一人一人の既往歴および、日々健康状態を把握する。</p> <p>&lt; 身体測定 (毎月) ・健康診断 (年2回) ・歯科検診 (年2回) ・午睡チェック ・予防接種の確認 ・爪、頭髮、皮膚の清潔 ・手洗い、うがいの指導 ・室温、湿度、換気等の調整、感染症予防 &gt;</p> <p>・保育室内の安全点検・消毒など安全と保健衛生に配慮し、気温・湿度・採光・換気などに留意する。 &lt; 玩具消毒、点検 ・室内外の安全確認 &gt;</p> <p>・避難訓練では保育士等の誘導で、一緒に階段を安全に下り避難場所へと避難する。 &lt; 避難訓練 (毎月) &gt;</p> <p>・食物アレルギーをもつ子どもへの園々への対応に留意する。</p>					



園長	主任	担当
村社 真知子	宮城 千秋	大城 千明

# 2024 年度 年間指導計画

## 年間目標

- 一人一人の子どもの生活リズムを重視し、生理的な欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- 安心できる保育士等の下、衣服の着脱・食事・排泄など身の回りのことを自分でやろうとする。
- 伸び伸びと個性を発揮し、自身の気持ちを言葉や動作で表現しようとする。
- ごっこ遊びや集団遊びを通して、友達と遊ぶ楽しさを知り、関わりを広げる。
- 全身運動を十分に楽しみながら、様々な動きをしようとする。

		1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)	
子どもの姿		・入園・進級した喜びや不安など一人一人が様々なかたちで思いを表現する。 ・新しい環境に少しずつ慣れ、保育士等や友達と一緒に生活の流れや仕方を知り、行おうとする。	・保育士等に手伝ってもらいながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする姿がある。 ・友達の遊びに興味を示し、場を共有して楽しむ姿がみられる。	・友達との関わりを喜び一緒に遊ぶが、互いの気持ちがぶつかり合う姿もある。 ・「自分で」と主張したり自我がよりはっきりしてくる。	・身の回りのことは、ほぼ自分でできるようになる。 ・見立て、ごっこ、つもり遊びを通して、イメージを豊かに広げていく。	
ねらい		・先生と友達 ～好きな遊びを思い思いに～	・何でも「じぶんで」するの！！ ～いろいろな事にチャレンジ～	・見て見て自分で・・・ ～認めてもらい自信をもつ～	・友達大好き ～友達と遊ぶことを楽しむ～	
内容	養	・一人一人の発達段階や、育ちの状態を把握し、それぞれに合わせた援助を行い、意欲的に生活できるようにする。	・保育士等との信頼関係を下し、一人一人が主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高める。	・気温の変化に応じた生活の環境を整え、健康で快適に過ごせるようにする。	・生活に必要な習慣や態度がしだいに身に付くよう、一人一人の生活リズムを見直し、必要な時には声をかけて援助しながら自信につなげていく。	
	護	・一人一人の子どもに寄り添い、様々な気持ちに共感し優しく応える中で安心して過ごせるようにする。	・夏の遊びや全身運動が十分に行えるよう安全に配慮しながら、適切な運動と休息をとることができるようにする。	・さりげなく援助し「自分でできた」という達成感を味わわせて、意欲につなげていく。	・保育士等との信頼関係を基盤にして、自信をもって活動できるよう成長過程を見守り、適切に働きかける。	
	教	健康	・新しい生活の仕方や一日の流れを覚え、保育士等と一緒にいたり、自分から取り組んだりする。	・保育士等に見守られながら身支度や簡単な身の回りのことをする。	・簡単な身の回りのことを自分からしようとする。	・生活の見通しを持ち、できることは自分でしようとする。
		人間関係	・保育士等と一緒に関わりながら、周りの友達とも一緒に遊ぶ楽しさを楽しむ。	・保育士等や友達と一緒に開放的な遊びを楽しむ。	・友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じ、関わりが増える。	・生活の中には約束事やきまりがあることを知る。
		環境	・新しい環境に慣れ、好きな玩具や玩具で遊ぶ。	・水や砂の感触や形の変化を楽しむ。	・散歩に出かけることを喜び、秋の自然物を見つたりして楽しむ。	・ごっこ遊びや集団遊びを通して、興味、関心を広げる。
育	言葉	・生活に必要な言葉が分かり、簡単な挨拶や返事をする。	・ごっこ遊びを通して、言葉のやり取りをする。	・見たことや聞いたことなどを、自分の言葉で伝えようとする。	・自分の思いや欲求を自分の言葉で伝える。	
	表現	・簡単な歌を口ずさんだり、リズム遊びを通して模倣することを楽しむ。	・身近な素材に親しみ、かいたり、つくったりすることを楽しむ。	・保育士等や友達といろいろなものになりきって遊ぶ。	・身近な素材や用具を使い、かいたり、切ったり、つくったりして楽しむ。	
食育		・新しい環境の中で食事に慣れ、落ち着いて食べる。 ・楽しい雰囲気の中で意欲的に食べようとする。	・食事を楽しみながら、季節の食材に関心をもつ。 ・皿に手を添え、スプーンを正しく持ち、自分で食べる。	・苦手なものでも自分で食べてみようとする。 ・二十日ネギの栽培活動を行い、収穫を喜ぶ。	・マナーを守りながら、友達と一緒に楽しく食事をする。 ・調理の様子を見せるなど厨房の調理師等と関わりをもたせ、より食事への意欲を育む。	
環境構成		・安心して生活できるよう、ゆったりとした生活リズムと雰囲気づくりをする。 ・子どもの興味に合わせた玩具や素材を十分に用意し、じっくり楽しめるようにする。	・こまめに水分補給ができるよう、水分補給や休息がとれる場所を設定し、ゆったり過ごせる時間を設ける。 ・戸外で十分に体を動かす機会を設ける。	・模倣遊びが発展するよう道具などを十分に用意して、遊びのイメージを広げる。 ・子どもが楽しみながら全身や手を使う活動ができるような遊びを取り入れる。	・遊びに必要な物やスペースを用意し、友達と関われる場面や機会を作る。 ・3歳児保育室で遊んだり、生活したりする機会を設け、進級への期待や安心感もてるようにする。	
保育士の援助・配慮		・生活や遊びの中で子どもの表情や態度を読み取り、無理強いをしないよう、子どもの気持ちに寄り添って関わっていく。 ・一人一人の不安や欲求を受け止め、スキンシップを十分に図りながら、信頼関係が築けるようにする。	・保育士等の連携を図り、安全面に留意して、全身を使った遊びや、夏ならではの遊びを十分に行えるようにする。 ・保育士等が仲立ちとなり、友達への関心もてるように働きかける。	・新しい取り組みについてはやり方を丁寧に知らせていき、自分でできたことに喜びや自信がもてるようにする。 ・一人一人の発達段階を把握し、自分でしようとする気持ちを大切にしながら担任間の共通理解の下、それぞれに合わせた援助を行う。	・ルールを守ることで、より遊びが楽しくなることをくり返し伝える。 ・友達との関わりの中で、相手にも気持ちや考えがあることに気付けるよう、思いを代弁したり言葉を引き出しながらやり取りを楽しめるようにしていく。	
家庭との連携		・子どもの体調について情報を共有し健康に過ごせるようにする。 ・園や家庭での様子を具体的に丁寧に伝え合いながら、信頼関係を深めていく。	・夏の疾患についての情報提供と注意喚起と対処法、園の対応などを伝える。 ・快適に過ごせるよう着替えの回数が増えることを伝え、衣服の補充の協力をお願いする。	・取り組みの過程の様子をしっかりと伝えていながら、子どもの頑張りをもとに認めていけるような雰囲気をつくっていく。 ・子どもの心身の発達過程や気持ち・行動の理解の仕方を伝え、子どもの成長に見通しがもてるようにする。	・感染症等についての情報提供を行いながら、健康状態を含め家庭との連絡を密にしていく。 ・進級に対する戸惑いや不安な姿に寄り添い、成長を伝えて喜びを分かち合うことで、親子で安心して進級を迎えられるようにする。	
健康及び安全		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の子どもに応じて健康・安全に留意するとともに、子どもの健康を保持し、安全を守るようにする。</li> <li>＜身体測定（毎月） ・健康診断（年2回） ・歯科検診（年2回） ・午睡チェック ・予防接種の確認 ・爪、頭髮、皮膚の清潔 ・室温、湿度、換気等の調整、感染症予防＞</li> <li>一人一人の子どもの生活リズムを整えていながら、手洗いの習慣を身に付けていく。 ＜手洗いの指導＞</li> <li>火災や地震などを想定した避難訓練では、落ち着いて保育士等の話を聞き、避難する。 ＜避難訓練（毎月） 玩具消毒、点検 ・室内外の安全確認＞</li> </ul>				

園長	主任	担当
村社 真知子	宮城 千秋	稲嶺 奈沙

# 2024 年度 年間指導計画

## 年間目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>衛生的で安全な環境を整え、一人一人の欲求を満ち、信頼関係の中で安心して過ごせるようにする。</li> <li>基本的な生活習慣を身に付け、自立心を育み、意欲的に生活ができるようにする。</li> <li>意欲的に活動に取り組み、やり遂げた達成感を味わう。</li> <li>保育士等や友達、異年齢の子ども達と遊び、触れ合いながら関わりを深めていく。</li> <li>身近な環境に興味をもち、自分から関わり生活を広げていく。</li> </ul>
--

		1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>入園、進級した事を喜び、新しい環境や生活に戸惑いや不安を感じ、泣く子どももいる。</li> <li>いろいろな玩具や遊具に興味をもち、好きな遊びを見つけ楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園生活に慣れ、身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>自分の好きな遊びを楽しみながら、友達と一緒に遊び、安心して過ごす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことがだいたい一人でできるようになる。</li> <li>いろいろな遊びに興味をもち、行動範囲も広がりが、落ち着いて遊びや活動に取り組むようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣がほぼ身に付き、安心して園生活を楽しむ。</li> <li>友達との関わりが広がり、言葉のやり取りをしながら楽しんで遊んでいる。</li> <li>進級への喜びや期待をもち、楽しみにする。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>先生大好き</li> <li>～親しみを感じて、思い思いに遊ぶ～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しいな</li> <li>～いろいろな場で楽しむ～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あれもこれもやってみたい</li> <li>～自分らしさを出す～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でできたよ</li> <li>～のびのびと楽しむ～</li> </ul>
内容	養	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の日々の体調や生活のペースを把握し、健康で安全な生活を送れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>梅雨期、夏期の保健衛生に留意し、快適の過ごすための生活習慣を知らせ、健康的に過ごせるようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動と休息のバランスが取れた生活を送れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内の温度・湿度・衛生面に留意し、寒さに負けず、健康的に過ごせるようにする。</li> </ul>
	護	<ul style="list-style-type: none"> <li>不安な思いや言葉を汲み取りながら、安心して気持ちを表すことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人のよさや頑張りを認め、信頼できる保育士等の下、自分の思いを十分に伝えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物事を最後までやり遂げようとする姿を身近な大人や友達に認めてもらい、自信をもって取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きくなったことを実感しながら自信をもって進級を迎えられるよう、一人一人の成長を認める。</li> </ul>
	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事・排泄・着脱などの基本的な生活習慣を確認し、保育士等に見守られながらやってみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏の生活の仕方（水分補給、汗をかいたら着替える、プールの準備など）を知り、自分でできることをやってみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かす心地よさを感じながら、全身運動を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の流れを理解し、見通しをもって行動する。</li> <li>冬の寒さを全身で感じながらも、寒さに負けず戸外で全身を動かして遊ぶ。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士等や友達に親しみをもち、一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな遊びを通し、イメージを共有したり、互いの意見を言い合ったりしながら関わりを深める。</li> <li>生活や遊びの中で約束事やきまりがあることを知り、守ろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達とのぶつかり合いも経験しながら、時には我慢したり、譲ったりする気持ちが芽生える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールを守ることで楽しめる遊びもあることを知り、友達と簡単なルールを守りながら遊ぶ。</li> <li>友達と一緒に考えたり工夫したりして遊ぶことを通して、友達のよさに気付く。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の遊具や玩具に興味をもち、自ら遊んでみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外遊びや水遊びなど、開放感のある夏ならではの遊びを保育士等や友達と一緒に楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然に親しみ、触れたり遊んだりする中で、形や色の違いに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や遊びの中で物を数えたり分けたりしながら、量や数に興味をもつ。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶や返事など生活に必要な言葉を知り、使ってみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本や紙芝居などの簡単な内容が分かり、楽しんで見たり聞いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士等や友達の言葉や話に興味をもち、親しみをもって聞いたり話したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と保育士等との会話を通して相手の話を最後まで聞いたり、自分の思いが伝わったりする喜びを感じる。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な素材に親しみ、かいたり、つくったりして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽に合わせて体を動かしたり、簡単な表現遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な絵本や紙芝居の世界をイメージし、言葉や動きで表現したり、演じたりすることを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な用具や素材を使って、イメージしたものをつくったり、それを用いて遊んだりする。</li> </ul>
食育		<ul style="list-style-type: none"> <li>気の合う友達と一緒に、楽しい雰囲気の中で食事をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事前後の挨拶や食事のマナーが分かり、意識して食事をするようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食材や調理法に興味をもち、食べているメニューを話題にして会話を楽しみながら、苦手な物でも食べてみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体に興味をもち、健康に過ごすために、好き嫌いをなく何でも食べる。</li> </ul>
環境構成		<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いて遊べるようにコーナーを工夫し、子どもの興味や関心にあった玩具を用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>梅雨期、夏期における保健衛生、一人一人の健康状態に留意し、快適な環境の下で生活ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然に触れる機会を多く持ち、見たり触れたりして興味・関心をもつことができるようにする。</li> <li>意欲をもって取り組んでいることを十分に認めながら、友達と一緒に取り組む心地よさや充実感を味わえるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬を元気で健康に過ごせるように、安全、換気、室温などの環境に十分留意する。</li> <li>様々な遊びを展開したり、継続して遊びを楽しんだりできるように、素材や遊具を用意し、積極的に遊びたくなるような空間をつくるようにする。</li> </ul>
保育士の援助・配慮		<ul style="list-style-type: none"> <li>入園・進級の不安、新しい環境への戸惑い等の複雑な心の動きを理解し、一人一人の思いを丁寧に汲み取りながら、安心して自己発揮できるよう配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信頼関係の下、それぞれの思いを引き出しながら友達との関わりが深められるよう、仲立ちや援助をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な活動を通して感じる思いに共感し、その思いを周囲に伝え合うことの喜びを十分に味わえるように援助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の生活に自信をもち、主体的に行動する姿を十分に認め、進級を楽しみに迎えられるよう、援助する。</li> </ul>
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の不安な気持ちを受け止め、園での様子を伝えたり家庭での様子を聞いたりして連携を密にし、信頼関係を築いていく。</li> <li>掲示や園だよりを用いて園における活動を知らせ、取り組みへの理解を深めながら、子どもの姿への相互理解を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水遊びの際には、子どもの健康状態を把握するため、家庭との連携を密にする。</li> <li>梅雨期や夏期を健康に過ごせるように保護者と体調を伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症が流行する時期に備え、感染症の情報や予防策、登園に関する基準などを具体的に知らせていく。</li> <li>行事などを通して、取り組みの中での戸惑いや頑張りを伝え、成長をともに見守っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進級に向かう子どもの心の変化とともに、一年間での子どもの成長に目を向け、安心して進級を迎えられるよう、さらに連携を図る。</li> </ul>
健康及び安全		<ul style="list-style-type: none"> <li>室内の快適な環境（気温、湿度、換気など）を整える。 &lt; 室温、湿度、換気等の調整、感染症予防 &gt;</li> <li>受け入れ時、受け入れ後の十分な視診を行う。</li> <li>&lt; 身体測定（毎月） ・健康診断（年2回） ・歯科検診（年2回） ・予防接種の確認 ・爪、頭髪、皮膚の清潔 ・手洗いの指導 &gt;</li> <li>保育室内外の清掃や安全点検を行う。 &lt; 玩具消毒、点検 ・室内外の安全確認 &gt;</li> <li>避難訓練を通して、災害時に安全に避難する方法を身に付ける。 &lt; 避難訓練（毎月） &gt;</li> </ul>			

園長	主任	担当
村社 真知子	宮城 千秋	喜名 祥子

# 2024 年度 年間指導計画

## 年間目標

- ・自分でできることに喜びをもちながら、健康、安全など、生活に必要な基本的な生活習慣を身に付ける。
- ・友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。
- ・身近な環境に興味をもち、自分から関わり、身の回りの事物や数、量、形などに関心をもつ。
- ・感じた事や思ったこと、想像したことなどを様々な方法で自由に表現する。
- ・異年齢児に興味や関心をもち、関わりを深める。

		1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)
子どもの姿		・新しい生活や友達に戸惑いながらも少しずつ慣れ、安心して過ごせるようになる。 ・好きな遊びを見つけ、友達や保育士と一緒に楽しむ。	・友達との関わりが増える一方で、互いの思いの違いからトラブルになることもある。 ・水遊びなど夏の遊びを積極的に楽しむ。	・友達との関わりを広げ、共通の目的をもっていろいろなことに挑戦し、達成感を味わう。 ・身の回りの自然物やいろいろな素材に興味をもち、遊びに取り入れて楽しむ。	・友達とのつながりが深まり、自分の思いや考えを表したり、友達の思いを受け入れたりする。 ・進級の期待を膨らませ、遊びや生活に自信をもって過ごせるようになる。
ねらい		・何をしようかな？ ～落ち着く場を求め～	・こうしてみよう ～試したり工夫したる～	・友達と一緒にやろう ～自分から関わって、伝えたり聞いたりする～	・気の合う友達と一緒に ～思いや考えを出し合う～
内 容	養 命の保持	・生活リズムを整え、健康で安定した生活が送れるようにする。	・十分な休息と水分補給に留意し、健康に送れるようにする。	・気温の変化に応じて室温や換気に留意し、健康で安全に過ごせるようにする。	・冬の健康、安全に留意し、寒さに負けず元気に過ごせるようにする。
	情 緒の安定	・一人一人の気持ちや考えを受け止め、安心して過ごせるようにする。	・一人一人が自分の思いや考えを安心して表せるようにする。	・自分でできたという達成感を味わい、意欲的に生活できるようにする。	・一人一人の成長を認め、自信をもって生活や活動ができるようになり、安心して進級していけるようにする。
	健 康	・食事や排泄、着脱など生活の仕方が分かり、自分でしようとする。	・汗の始末や水分補給を自分でし、健康に過ごす。	・気温の変化に応じて、衣服の調整を行い、生活の仕方を身に付ける。 ・いろいろな遊具や用具を使い、運動遊びを楽しむ。	・手洗いなど健康に過ごすための生活習慣が身に付き、意欲的に生活する。
	人 間関係	・十分に体を動かして遊ぶ中で、遊具や用具の安全な使い方を知る。 ・友達や保育士等に親しみをもち、一緒に遊びを楽しむ。	・様々な遊びを経験する中で、ルールを守って遊ぶ楽しさを知る。 ・異年齢との触れ合いを楽しみ、親しみを感ずる。	・友達との関わりの中で、互いの気持ちを伝え合い、様々な考え方があり友達のよさに気付く。	・仲間意識が深まり、自分の意見を主張したり、友達の考えを受け入れたりしながら遊ぶ。 ・異年齢の友達と関わり、憧れや思いやりの気持ちをもつ。
	環 境	・自然や身近な動植物を見たり触れたりして、関心をもつ。	・身近な動植物に関心をもち、触れたり世話をしたりする。 ・夏ならではの遊びを十分に楽しむ。	・自然物や身近な事象を通して数量、形、色などに興味をもち、集めたり分けたりして楽しむ。	・冬の自然事象や春の訪れに気付き、興味や関心をもって触れたり、観察したりする。
	言 葉	・生活や遊びの中で、必要なことを言葉で伝え、友達や保育士等の話を聞こうとする。	・自分の経験したことや思ったことを言葉にして、友達や保育士等との会話を楽しむ。	・絵本や紙芝居を見たり、聞いたりして、言葉の面白さに興味をもつ。	・身近な事物や事象などについて話し合ったり、言葉遊びや伝承遊びを通して、言葉の表現が豊かになる。
表 現	・友達や保育士等と一緒に歌ったり、体を動かしたりする。	・身近な素材に親しみ、感触を味わい、かいたり、つくったりする。	・自分なりのイメージを様々な素材や方法で表現することを楽しむ。 ・友達と一緒に人前に立ち、表現する楽しさや達成感を味わう。	・身近な自然物やいろいろな素材を使って工夫してかいたり、つくったり、遊んだりする。	
食育		・様々な食材があることを知り、興味・関心をもつ。	・食事の挨拶やマナーを知り、楽しく食べる。 ・野菜の生長に親しみや関心をもち、収穫の喜びを感じる。	・食物と体の関係に興味をもち、楽しく食べる。 ・自然の恵みの大切さを知り、感謝の気持ちをもって食べる。	・正しい姿勢を心がけ、食べ方のマナーを身に付ける。 ・食器の取り扱いや片付けを丁寧にやる。
環境構成		・用具・遊具の扱い方や遊び方が身に付くような環境づくりをする。	・夏の遊びを十分に経験できるように設定し、安全・衛生面に配慮する。	・秋の自然を十分に楽しめるように園外活動の機会を増やし、準備や下見を行う。	・室温調節や換気、清潔に配慮し、子どもの体調をしっかりと把握し、健康に過ごせるよう環境を整える。
保育士の援助・配慮		・一人一人が安心して過ごせるように、子どもの緊張や不安な気持ちを受け止めていく。 ・生活の流れや仕方を丁寧に知らせ、自分でしようとする気持ちになるよう見守ったり、援助したりする。	・一人一人の健康状態を把握し、水分補給や休息をとり、健康に過ごせるようにする。 ・友達との関わりの中で、相手の気持ちや集団生活のきまりに気付いていけるように援助する。	・子どもの発達を見通し、全身を使う運動を取り入れ、活動する楽しさや、達成感や満足感、友達と協力してつくり上げる喜びを味わえるようにする。	・友達との関わりの中で憧れや慕慕の気持ちを受け止めながら、自分の力を十分発揮できるようにも考え、必要に応じて助言する。 ・年長児の活動に興味をもって意欲的に生活する姿を認め、進級に期待がもてるようにする。
家庭との連携		・家庭との連携を密にとり、保護者の不安を受け止めながら信頼関係を築き、安心できるようにしていく。 ・掲示や園だよりを用いて園における活動を知らせ、取り組みへの理解を深めてもらいながら、子どもの姿への相互理解を図る。	・夏を健康に過ごすための配慮を伝え、子どもの健康管理と感染症予防について家庭とこまめに連絡を取り合う。	・感染症が流行する時期に備え、感染症の情報や予防策、登園に関する基準などを具体的に知らせる。 ・行事を通して、保護者同士の交流や子ども同士とのつながりも深まるようにする。 ・一人一人の育ちやクラスとしての育ちを知らせ、成長をともに喜ぶ。	・冬の感染症について情報交換し、予防方法を知らせる。 ・子どもの成長をともに喜び、進級に対する不安や期待を受け止め、様子を丁寧に伝えること、保護者が安心できるようにする。
健康及び安全		・毎月の避難訓練や交通安全教室を通し、災害等についての対応を知り、生きる力の基礎を培う。 ＜・避難訓練（毎月） 玩具消毒、点検 ・室内の安全確認＞	・毎月の避難訓練や交通安全教室を通し、災害等についての対応を知り、生きる力の基礎を培う。 ＜・避難訓練（毎月） 玩具消毒、点検 ・室内の安全確認＞		

園長	主任	担当
村社 真知子	宮城 千秋	喜屋武 杏奈

年間目標

- ・健康・安全に必要な基本的な生活習慣や自主性、協調性の態度を身に付け、見通しをもって生活する。
- ・友達との関わり合いの中で、互いに認め合い、協力して目標に向かい、最後までやり遂げる充実感や達成感を味わう。
- ・身近な自然や事象に好奇心や探究心をもち、発見を楽しんだり、考えたり、生活や遊びに取り入れていく。
- ・経験したことや考えたことなどを言葉で伝え合ったり、聞こうとしたりする意欲や態度を身に付ける。
- ・様々な遊びや生活を通して意欲的に取り組み、自分の力を発揮する喜びや自分なりに表現する楽しさを味わう。

		1期 (4~5月)	2期 (6~8月)	3期 (9~12月)	4期 (1~3月)	
子どもの姿		・自然に親しみながら、戸外で体を動かして活動することを楽しみ、いろいろな遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に年長児になったことを喜び、異年齢児に優しさや思いやりの気持ちをもって関わっている。 ・疲れが出たり、緊張感や不安感をもつ子どももいる。	・自ら環境に働きかけ、生活や遊びに取り入れながら、新しいことに挑戦している。 ・友達と一緒に生活する中で状況に応じた言葉を使うようになり、自分の気持ちを伝え合おうとしている。 ・自然事象などに興味をもち、面白さや不思議さに気付き探究している。	・かいたばい体を動かすことを好み、自分なりの課題をもって頑張っている。 ・遊びの中で共通の目的をもって、友達と考えたり工夫したりしている。 ・知的好奇心や探究心が高まり、様々なことに積極的に関わろうとしている。	・友達の刺激を受けながら目的をもって、くり返し挑戦したり試したりしている。 ・文字や数への関心が高まり、日にちや時間を意識して生活するようになる。 ・就学への期待が膨らみ、生活や活動の見通しをもって行動しようとしている。	
ねらい		・いよいよ年長だ ～喜びを感じる～	・友達とイメージを伝えて ～伝えたり、受け入れたりする～	・共通の目的をもって向かう ～力を出したり、工夫したり、相談したりする～	・もうすぐ1年生 ～自信をもつ～	
内容	養育	生命の保持	・健康で安全な環境を作り、一人一人の欲求を満たし、自信や意欲をもって生活できるようにする。	・夏期の健康・安全に留意し、清潔な環境を心がけ、一人一人の健康状態を観察・把握し、快適に生活できるようにする。	・気温の変化に応じて衣類の調整や室温、換気に配慮し健康で快適に過ごせるようにする。	・適切な室内環境を整え、感染症などへの予防に努め、冬期を元気に過ごせるようにする。
		情緒の安定	・一人一人の気持ちを十分に受け止め、情緒の安定を図る。	・自信をもって生活や遊びが楽しめるよう、一人一人のよさを認め、自信がもてるようにする。	・保育士等との信頼関係の中で、一人一人の気持ちや考えを安心して表すことができるようにする。	・一人一人の基本的な習慣の自立を認め、自信や意欲をもって生活できるようにする。
	健康	・新しい環境や年長児の生活に必要なまきまりを守り、健康や安全に気を付けながら生活しようとする。	・自分の体に興味をもち、気温に応じた衣服の調節や水分補給など、夏期の健康や安全に必要な習慣を身に付ける。 ・危険な場所、危険な遊び方、災害時の身の守り方を話し合い、ルールを守って安全に行動する。	・戸外で友達と競い合ったり応援し合ったり、積極的に体を動かすなど、多様な経験をし、健康で安全な生活を作りだす。	・運動遊びや室内遊びに課題意識をもって、最後までやり遂げようとする。	
	人間関係	・友達と積極的に関わり、異なる思いや考えに気付き、自分のよさや特徴にも気付く。	・水・土・砂などいろいろな素材を使って工夫しながら、友達と協力して遊ぶ。	・伝統的な文化や行事に親しみ、遊びや生活に取り込み、社会とのつながりを意識していく。	・一年間過ごした友達や園舎、身近な人に感謝の気持ちをもつ。	
	環境	・身近な環境に自ら関わり、数量・図形・文字・時間などに興味をもつ。 ・自然や身近な動植物に親しみをもち、見たり、触れたり、すすんで世話をしながら生命の尊さに気付く。	・身近な生き物や自然現象に対して関心を深め、分からないこと、気になること、不思議に思ったことなどを自分で調べようとする。 ・生活や遊びの中で数量や時間に興味をもつ。	・自然の中の色・形・数量などに興味をもち、それを生活に取り入れて遊ぶ。	・冬の身近な事象に関心をもち、それを取り入れて遊んだり、変化に気付いたりする。	
	言葉	・相手の話を最後まで聞き、自分の経験したこと、思ったこと、考えたことを相手に分かるように話す。	・自分の考えを話したり、相手の考えを聞いたりしながら、会話を楽しむ。	・絵本や物語を通じ、言葉や文字を使ったり、相手の話を聞いて、自分の思いや考えをまとめ、深める。	・友達との対話を楽しみながら、自分の気持ちをその場にふさわしい言葉で伝えようとする。	
	表現	・絵本や物語を通して想像する楽しさを味わい、言葉や文字を使うことに興味・関心をもつ。	・様々な素材に触れながら性質の違いに気付き、友達と一緒に工夫してつくりだしたり、かいたりする。	・材料や道具などを工夫して使いながらイメージを広げ、色や動き、音楽、製作物などで表現する喜びを味わう。	・クラス全体で一年間の思い出などを振り返り、協同する楽しさや一体感、充実感を味わう。	
食育	・正しい食習慣、食事のマナーを守って、楽しく食事をする。 ・身近な自然に関わり、世話をしながら、料理との関係を考え、食材に対する感覚を豊かにする。	・自分の体に必要な食品の種類や働きに気付き、栄養バランスを考慮した食事を摂ろうとする。 ・栽培活動やクッキング活動を楽しみながら経験し、食への意欲や関心が育つ。	・友達や保育士等と会話を楽しみながら、時間内で食べていく。 ・いろいろな食材を意識してバランスよく食べていく。	・図鑑や絵本を通して、自分の体の仕組みや食べ物働きを知る。 ・食事のマナーを身に付け、小学校の給食に期待をもつ。		
環境構成	・安定した気持ちで生活ができるように経験のつながり、一日のめりはりや活動の流れに沿ってゆとりのある時間や場を構成していく。	・時計を見ながら意識して行動できるよう、時間の目安を決めながら行動する。 ・気の合う友達と一緒に活動を楽しめるよう、場の構成や時間の配慮をし、時間にゆとりをもつ。	・興味や活動意欲の高まりを受け止めて、十分に活動できる広い場を確保する。	・友達やクラス全体で、製作や表現を楽しめるような活動を取り上げ、協同する楽しさや充実感を味わえるような機会を設ける。 ・小学校生活への移行を意識し、一日の生活の流れを見通して行動できるように、時計やカレンダーを遊びや生活の中に位置付ける。		
保育士の援助・配慮	・子ども達とともに生活の場をつくらせていくことを大切に、その過程を通して、年長組になった実感ももてるようにしていく。 ・沖縄の伝統芸能や方言を生活や遊びの中に取り入れる。	・自分の思いを素直に表現している場をつくらせていく。	・皆で一つの事に取り組む楽しさを伝え、あきらめずにくり返し挑戦し、最後までやり通そうとする気持ちを大切に育む。	・年長児として自分達が誇りに思っていてやってきた役割を、年下の子どもにも分かるように伝える。		
健康及び安全	・身の回りの生活や衛生面について基本的な習慣を身に付け、健康な生活のリズムを整える。 < 体測定 (毎月) ・健康診断 (年2回) ・歯科検診 (年2回) ・予防接種の確認 ・爪、頭髮、皮膚の清潔 ・手洗いの指導 ・室温、湿度、換気等の調整、感染症予防 > ・毎月の避難訓練や交通安全教室を通じ、災害等についての対応を知り、生きる力の基礎を培う。 < 避難訓練 (毎月) ・玩具消毒、点検 ・室内外の安全確認 >					
地域・小学校との連携	・積極的に園外保育に出かけ、地域の人々と触れ合う。 ・地域の人やお年寄りとの交流を深め、身近な人に感謝の気持ちをもつ (高齢者施設への訪問など) ・地域の保護者の育児相談を受けて、子育ての支援をしていく (子育て家庭への情報発信、園庭開放、育児相談など)。 ・子どもの育ちを支えるため、小学校との情報交換や意見交換の場をたびたびもち、発達の連続性を図る。 ・小学校や園の行事に相互に参加する中で、就学への期待を高める。					
家庭との連携	・家庭と園の様子を伝え合う中で、保護者の気持ちを受け止め、信頼関係を築いていく。 ・園だよりや写真の掲示などを通して、保育内容 (養護と教育) が分かるように伝え、相互理解を図る。 ・夏期の健康的で安全な過ごし方について、家庭と連携を取り合う。 ・保育参観などを通して、生活や遊びに関する内容や保育士等の援助の仕方を伝え、家庭保育の参考にするようにする。 ・感染症が流行する時期に備え、感染症の情報や予防策、登園に関する基準などを具体的に知らせていく。 ・保育参観などを通して、生活や遊びに関する内容や保育士等の援助の仕方を伝え、家庭保育の参考にするようにする。 ・様々な行事を通して、子ども達がたくましく成長している姿を家庭とともに実感し、喜び合う。					

# 食育活動年間計画

○毎年6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」

○毎月1回、食育に関する活動を行う日を「大地すくすくデー」と称する

<ねらい> ・絵本、紙芝居などを通して食育への興味、関心を育む。  
・栽培活動やクッキング活動を楽しみながら経験し、食への意欲や関心を育む。  
・安全面や衛生面に気をつけながら、友達や保育士と力を合わせて作ることの楽しさを味わう。  
・いろいろな食材に興味をもち、出来上がるまでの過程や食材の変化を楽しむ。

<日時> 4月より毎月1回（19日前後に設定） 午前9：45開始  
（活動内容により、日時の変動あり）

<実施方法> ・5歳児でいご組、4歳児ひまわり組、3歳児きく組がクラス単位で行う。  
・3クラス合同で行うクッキングは下記の通り。  
（12月・ムーチャー）

## <保育士の配慮事項>

- 安全面や衛生面には十分配慮し、調理器具の取り扱いにも十分気をつける。
- クラスの発達段階に応じて活動内容を検討し、いろいろな食材や調理方法を経験させ、楽しみながら食への興味や関心を育てるようにする。

## <クッキングの際、準備するもの>

エプロン・三角巾（爪は切るよう前日までに保護者へも協力を依頼し、衛生管理に努める）。

## 「食育とは？」

食育基本法においては、『食育とは生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てるもの』と定義されている。

## 「なぜ6月が食育月間なの？」

食育基本法が成立した平成17年6月であることや、学校生活や社会生活等の節目に当たる年度明けの時期で、進学や就職、転勤等の影響が少ない月が適当だということで、6月が食育月間となった。この取り組みやすい時期を契機に多くの方に食育への関心を高めて、年間を通じて健全な食生活を実践。

## 「なぜ19日が食育の日なの？」

食育の「育（いく）」という言葉が「19」という数字を連想させること、また「食」という言葉も「しょ→初→1、く→9」ということで、「19」を連想させることから、19日が食育の日。

## ○食育を通じて学ぶ5つのポイント

- 1, 食への感謝の気持ちが生まれる。
- 2, 栄養のバランスを学べる。
- 3, 食を通して社会性を育む。
- 4, 食の安全について学ぶ。
- 5, 伝統的な食文化を継承する。

# 2024年度 大地すくすくデー年間実施計画（3歳児・きく組）

- <ねらい> ○絵本、紙芝居などを通して食育への興味・関心を育む。  
 ○栽培活動やクッキング活動を楽しみながら経験し、食への意欲や関心を育む。  
 ○安全面や衛生面に気をつけながら、友達や保育士と力を合わせて作ることの楽しさを味わう。  
 ○いろいろな食材に興味をもち、出来上がるまでの過程での食材の変化を楽しむ。

<日時> 4月より毎月1回（19日前後に設定） 午前9：45開始

## <保育士の配慮事項>

- 安全面や衛生面には十分配慮し、調理器具の取り扱いにも十分気をつける。  
 ○3歳児の発達段階に応じて活動内容を検討し、いろいろな食材や調理方法を体験させ、楽しみながら食への興味や関心を育てるようにする。

## <準備するもの>

エプロン・三角巾（クッキング時）

## <活動内容（予定）>

月日曜	内容	活動のねらい	材料・その他
4月18日 (木)	マナーについて	・苦手な食材も“食べてみよう”という気持ちになれるようにする	絵本
5月16日 (木)	<クッキング> おにぎり	・ふりかけを自分で開けてみる ・おにぎりを握ってみる	白米・ふりかけ 半斤袋・しゃもじ
6月20日 (木)	マナーについて	・栄養素について知る ・座り方、スプーンの持ち方を知る	ホワイトボード パネル
7月18日 (木)	<クッキング> ジャムサンド	・パンを買いに行く体験をする ・ジャムを塗る	パン・ジャム・ラップ スプーン
8月22日 (木)	<クッキング> フルーツゼリー	・フルーツをトッピングする ・ゼリーをカップに注ぐ	数種類のフルーツ ゼリーの素・カップ
9月19日 (木)	<クッキング> ピザトースト	・ピーマンの栽培・収穫、パンの購入を行う ・好きな具材をパンに乗せクッキングを楽しむ	パン・チーズ・ケチャップ・ピーマン・タマネギ・ハム
10月17日 (木)	秋の食材を知ろう	・秋の食材を知らせていきながら、季節にあった旬の食材も伝えていく	パネル・絵本
11月21日 (木)	<クッキング> ヒラヤーチー	・ネギの栽培・収穫・クッキングを体験し、苦手意識の野菜をみんなでおいしくいただく	ネギ・小麦粉・卵・シーチキン・油
12月5日 (木)	<クッキング> ムーチャー	・沖縄の文化に触れ、郷土料理をみんなで作る	モチ粉・砂糖・紅芋粉・サンニンの葉
1月16日 (木)	野菜を切っただけを切ってみよう	・野菜に触れてみたり、中はどうなっているのかをクイズを楽しみながら知る	数種類の野菜 絵本
2月20日 (木)	<クッキング> ポーク卵おにぎり	・地元で愛される食材を使ったおにぎり作りを楽しむ	白米・ポーク・卵・海苔
3月13日 (木)	<クッキング> パフェ	・好きなトッピング（果物・コーンフレーク・生クリーム・チョコスプレー）を選びカップに入れる	数種類のトッピング カップ

# 2024年度 大地すくすくデー年間実施計画（4歳児・ひまわり組）

- <ねらい> ○絵本、紙芝居などを通して食育への興味・関心を育む。  
 ○栽培活動やクッキング活動を楽しみながら経験し、食への意欲や関心を育む。  
 ○安全面や衛生面に気をつけながら、友達や保育士と力を合わせて作ることの楽しさを味わう。  
 ○いろいろな食材に興味をもち、出来上がるまでの過程での食材の変化を楽しむ。

<日時> 4月より毎月1回（19日前後に設定） 午前9：45開始

## <保育士の配慮事項>

- 安全面や衛生面には十分配慮し、調理器具の取り扱いにも十分気をつける。  
 ○4歳児の発達段階に応じて活動内容を検討し、いろいろな食材や調理方法を体験させ、楽しみながら食への興味や関心を育てるようにする。

## <準備するもの>

エプロン・三角巾（クッキング時）

## <活動内容（予定）>

月日曜	内容	活動のねらい	材料・その他
4月18日 (木)	食事のマナーを考える	・食事のマナーの再確認をする	食事のマナーのポスター・イラスト
5月16日 (木)	栄養素って何?	・三大栄養素を赤黄緑に分け、バランスよく食べることの大切さを知る	「えいようのうた」 栄養素パネルシアター
6月20日 (木)	<クッキング> おにぎり	・手で握る感触を味わい、手作りをする楽しさを味わう	ごはん・ふりかけ
7月18日 (木)	<クッキング> フルーツゼリー	・フルーツをトッピングすることを楽しむ ・ゼリーが固まることを知り、その変化を楽しむ	ゼリーの素・お湯 フルーツ缶
8月22日 (木)	<クッキング> ピザトースト	・野菜を見たり触ったりして楽しむ ・食材をトッピングすることを楽しむ	トマト・ピーマン・パン ハム・ソース・チーズ
9月19日 (木)	<クッキング> アイス	・アイスが固まることを知り、その変化を楽しむ	牛乳・氷・砂糖・塩 バニラエッセンス
10月17日 (木)	<クッキング> ヒラヤーチー	・ネギの栽培・収穫・クッキングを体験し、苦手意識の野菜をみんなでおいしくいただく	ネギ・小麦粉・卵 シーチキン・油
11月21日 (木)	味覚を知る	・日本ならではの出汁を知り、香りや味を楽しむ	昆布・煮干し かつお節
12月5日 (木)	<クッキング> ムーチャー	・沖縄の文化に触れ、郷土料理をみんなで協力して作る	モチ粉・砂糖・紅芋粉 粉・サンニンの葉
1月16日 (木)	<クッキング> クッキー	・材料を混ぜたり、形を作ったりすることを楽しむ	HM・卵・バター 牛乳
2月20日 (木)	<クッキング> ポテトフライ	・収穫を体験し、包丁を使用して切ることを経験し、みんなで作ったポテトフライをおいしくいただく	ジャガイモ・青のり カレー粉・塩
3月13日 (木)	<クッキング> カップデコレーションケーキ	・スポンジの感触を味わいながら切ったり、果物のトッピングを行うことで作る楽しさを知る	スポンジ・生クリーム ム・フルーツ・カップ

# 2024年度 大地すくすくデー年間実施計画（5歳児・でいご組）

- <ねらい> ○絵本、紙芝居などを通して食育への興味・関心を育む。  
 ○栽培活動やクッキング活動を楽しみながら経験し、食への意欲や関心を育む。  
 ○安全面や衛生面に気をつけながら、友達や保育士と力を合わせて作ることの楽しさを味わう。  
 ○いろいろな食材に興味をもち、出来上がるまでの過程での食材の変化を楽しむ。

<日時> 4月より毎月1回（19日前後に設定） 午前9：45開始

## <保育士の配慮事項>

- 安全面や衛生面には十分配慮し、調理器具の取り扱いにも十分気をつける。  
 ○5歳児の発達段階に応じて活動内容を検討し、いろいろな食材や調理方法を体験させ、楽しみながら食への興味や関心を育てるようにする。

## <準備するもの>

エプロン・三角巾（クッキング時）

## <活動内容（予定）>

月日曜	内容	活動のねらい	材料・その他
4月18日 (木)	栄養素って何？ 食事のマナーを考える	・三大栄養素を赤黄緑に分けて、バランスよく食べる ことの大切さを知る ・食事のマナーの再確認をする	「えいようのうた」 栄養素パネルシアター
5月16日 (木)	<クッキング> お米を炊く	・お米が出来上がるまでを知り、炊き立てご飯を自 分で配膳し頂く	お米・炊飯器
6月20日 (木)	味覚について	・食材の味について知る。	食育エプロンシアター
7月18日 (木)	<クッキング> 冷やしそうめん	・食材を買いに行く体験をする ・型抜きや包丁を使って食材を切る。	そうめん・ハム・オ クラ・めんつゆ
8月22日 (木)	<クッキング> 焼きそば	・食材を買いに行く体験をする ・包丁を使って野菜を切る	麺・ソース・キャベツ・ 玉ねぎ・ピーマン
9月19日 (木)	<クッキング> サンドウィッチ	・パンを買いに行く体験をする ・食材をサンドする。	パン・ハム・レタス・ チーズ・マヨネーズ
10月17日 (木)	野菜を 触ってみよう	・その日の献立の野菜を知り、見たり触ったりして 食事により関心をもつ	旬の野菜や果物・は てなBOX
11月21日 (木)	<クッキング> ヒラヤーチー	・ネギの栽培・収穫・クッキングを体験し、苦手意 識の野菜をみんなでおいしくいただく	ネギ・小麦粉・卵・ シーチキン・油
12月5日 (木)	<クッキング> ムーチャー	・沖縄の文化に触れ、郷土料理をみんなで協力して 作る	モチ粉・砂糖・紅芋 粉・サンニンの葉
1月16日 (木)	栄養素って何？ パート2	・主食・主菜・副菜・汁物について知り、バランス よく食べることの大切さを再確認する	当日の献立の材料を 前もって準備する
2月20日 (木)	<クッキング> ポテトフライ	・収穫を体験し、包丁やスライサー使用して切るこ とを経験し、みんなでおいしくいただく	ジャガイモ・油・塩・ ケチャップ
3月13日 (木)	<クッキング> デコレーション カップケーキ	・果物を切ったり、トッピングを行うことで作る楽 しさを味わう	スポンジ・生クリー ム・フルーツ・カッ プ



## 行事計画

月	行事予定	実施内容・ねらい
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○入園式</li> <li>○進級式</li> <li>○親子遠足</li> <li>○こいのぼり揚げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園案内・説明・職員紹介を行い、歌などを楽しむ。</li> <li>・進級した喜びを味わい、様々な活動を楽しみにする。</li> <li>・親子でふれあい、楽しいひとときを過ごす。</li> <li>・こいのぼりを揚げ、健やかな子どもの成長を願う。</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○トマト栽培（でいご・ひまわり組）</li> <li>○アサガオ栽培（きく・たんぽぽ組）</li> <li>○尿・蟻虫検査（前期）</li> <li>○絵本の貸し出しスタート</li> <li>○保育面談（前期）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を通して、植物を育てる喜びを知る。</li> <li>・体験活動を通して、植物を育てる喜びを知る。</li> <li>・健康に関する、検査、検診を行う。</li> <li>・絵本を通して親子のコミュニケーションを図り、心の栄養を蓄える。</li> <li>・時間割を作成し、全園児の保育面談を行う。</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○虫歯予防</li> <li>○幼児健診・歯科検診（前期）</li> <li>○保育参観・参加（前期）</li> <li>○クリーンアドベンチャー出発式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はみがきをする大切さを知り、食べた磨く習慣を付ける。</li> <li>・嘱託医による健康診断・歯科検診を受ける。</li> <li>・保護者に保育園での子どもの様子を観てもらおう。</li> <li>・みんなで協力して身近な環境をきれいにし、豊かな心を養う。</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○七夕集会</li> <li>○水あそび</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短冊に願いを込め、全園児で七夕飾りを作成し楽しむ。</li> <li>・夏の遊びや水あそびの楽しさを体験し体調に細心の注意を払う。</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水あそび ○夏まつり</li> <li>○慰問活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の楽しいお祭りの雰囲気を楽しむ。</li> <li>・市内にある老健施設を慰問し、お年寄りとの貴重な時間を過ごす。</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防防火訓練（消防署へ届出）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1度行っている避難訓練を確認し合いながら参加する。</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防写生大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防自動車、救急自動車を描くことにより、消防の仕事を理解し、正しい火の取り扱いに対するしつけを身に付ける。</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○勤労感謝の日 ○尿検査（後期）</li> <li>○幼児健診・歯科検診（後期）</li> <li>○わらびんちゃあ遊愛フェスティバル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近で働く人々に感謝する気持ちを育てる。</li> <li>・嘱託医による健康診断・歯科検診を受ける。</li> <li>・わらびんちゃあが一堂に会し交流を楽しむ。</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育参観・参加（後期）</li> <li>○修了記念写真撮影</li> <li>○ムーチー作り</li> <li>○保育納め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に保育園での子どもの様子を観てもらおう。</li> <li>・成長の喜びを感じながら撮影を行う。</li> <li>・沖縄の伝統行事のムーチー作りを体験する。（新暦12月8日）</li> <li>・年末年始の休みに入る。（12月29日～1月3日）</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育始め</li> <li>○保育面談（後期）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスで正月遊びを取り入れ楽しむ。</li> <li>・一年間の成長を保護者と共に確認し、喜び合う。</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お別れ遠足（沖縄こどもの国）</li> <li>○新入園児面談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全園児と職員で楽しいひとときを過ごす。</li> <li>・入園内定者（保護者）との面談を行う。</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひなまつり</li> <li>○担任入れ替え</li> <li>○卒園式・修了式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雛人形を飾って楽しむ。（各クラス、製作を楽しむ）</li> <li>・次年度に向けて主担任の入れ替えを行う。</li> <li>・保育園のできごとを思いおこしながら、卒園・修了する。</li> </ul>
月行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クリーン作戦（第1火曜日）</li> <li>○避難訓練（第1水曜日）</li> <li>○保育会議 ○給食会議</li> <li>○大地すくすくデー（食育活動 月1回）</li> <li>○お楽しみ会 ○身体測定</li> <li>○運動遊び 2～5歳児（月4回 金曜日）</li> <li>○弁当会（第3水曜日） ○おはなし週間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な環境をきれいにし、豊かな心を養う。</li> <li>・火事の怖さ等を伝えながら非常時の避難の仕方を設定し行う。</li> <li>・各クラスの子どもの様子や課題を共有し、共通理解を図る。</li> <li>・月に1回、食育への興味、関心を育む。</li> <li>・各月誕生児を祝う。</li> <li>・外部講師（太陽スポーツクラブ）を招いて体を動かす楽しさを体験する。</li> <li>・月に1度は家族の方の手作り弁当を持って園外保育を楽しむ。</li> </ul>
週行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書道 5歳児（火曜日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師（上原昇峰先生）を招いて毛筆、硬筆を通して、文字に興味をしめしたり、書く体験をする。</li> </ul>

大地保育園

運動遊び年間指導カリキュラム (株)太陽スポーツクラブ

年間指導目標		たんぽぽ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん動き、道具に触れバランス感覚、神経系の発達を促す。</li> <li>・外(園庭)遊びを通してルールを守り、友達と遊ぶことの面白さを理解する。</li> </ul>				
		きく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動遊びを通して、運動の楽しさ、約束を守ることの大切さを理解させる。</li> <li>・外(園庭)遊びを通してルールを守り、友達と遊ぶことの面白さを理解する。</li> </ul>				
			1回目	2回目	3回目	4回目	
新年度 ～夏	4月	たんぽぽ	集合遊び、模倣遊び	ボール遊び(1人・手)	集合遊び、模倣遊び	ボール遊び(サッカー)	
		きく	集合遊び、模倣遊び	ボール遊び(1人・手)	集合遊び、模倣遊び	ボール遊び(サッカー)	
	5月	たんぽぽ	タッチ遊び	ボール遊び(1人・手)	フープ遊び(置いて)	ボール遊び(サッカー)	
		きく	タッチ遊び	ボール遊び(1人・手)	フープ遊び(置いて)	ボール遊び(サッカー)	
	6月	たんぽぽ	フープ遊び(持って)	ボール遊び(1人・手)	コーン遊び	ボール遊び(サッカー)	
		きく	フープ遊び(持って)	ボール遊び(1人・手)	コーン遊び	ボール遊び(サッカー)	
	7月	たんぽぽ	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(1人・手)	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(サッカー)	
		きく	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(1人・手)	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(サッカー)	
	8月	たんぽぽ	集合遊び、模倣遊び	ボール遊び(2人・手)	長縄跳び	ボール遊び(サッカー)	
		きく	集合遊び、模倣遊び	ボール遊び(2人・手)	長縄跳び	ボール遊び(サッカー)	
	体力作り	9月	たんぽぽ	短縄跳び(置いて)	ボール遊び(2人・手)	短縄跳び(持って)	ボール遊び(サッカー)
			きく	短縄跳び(置いて)	ボール遊び(2人・手)	短縄跳び(持って)	ボール遊び(サッカー)
10月		たんぽぽ	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(2人・手)	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(サッカー)	
		きく	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(2人・手)	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(サッカー)	
11月		たんぽぽ	バランス遊び	ボール遊び(2人・手)	リレー遊び	ボール遊び(サッカー)	
		きく	バランス遊び	ボール遊び(2人・手)	リレー遊び	ボール遊び(サッカー)	
12月		たんぽぽ	バルーン遊び	ボール遊び(集団)	フープ遊び(置いて)	ボール遊び(サッカー)	
		きく	バルーン遊び	ボール遊び(集団)	フープ遊び(置いて)	ボール遊び(サッカー)	
体力作り～ 総仕上げ	1月	たんぽぽ	フープ遊び(持って)	ボール遊び(集団)	コーン遊び	ボール遊び(サッカー)	
		きく	フープ遊び(持って)	ボール遊び(集団)	コーン遊び	ボール遊び(サッカー)	
	2月	たんぽぽ	長縄跳び	ボール遊び(集団)	サーキット遊び	ボール遊び(サッカー)	
		きく	長縄跳び	ボール遊び(集団)	サーキット遊び	ボール遊び(サッカー)	
	3月	たんぽぽ	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(集団)	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(サッカー)	
		きく	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(集団)	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(サッカー)	
備考		※年間の流れとしては、上記の表を基本に組み立てるが、園の実情、要望に合わせて指導者と協議し、適宜変更して良い。 ※基本の運動及び鬼遊び(集団ゲーム)は年間を通して適宜取り入れる。					
5年度反省点 修正点 抱負		昨年度は、運動遊びを円滑に行える様、力のバランスが偏りすぎない様、クラス毎にグループ分けを決めていただき有難うございました。また、指導後のコメントを書いていただくことで、子ども達の様子や先生方の感じたことを知ることができ、次回の運動遊びに活かすことが出来ました。今年度も宜しくお願ひいたします。 今年度もまずは安全第一に、そして楽しく行っている様取り組んでいけたらと考えています。事故、怪我に配慮した構成を考え、言葉掛けを考え、先生方と共有していきながら、子ども達が楽しく、自主的に参加出来るような運動遊びにしていけたらと考えています。					

年間指導目標		ひまわり	・運動遊びを通して、「我慢することの大切さ」「頑張ることの大切さ」を理解させる。 ・外(園庭)遊びを通してルールを守り、友達と遊ぶことの面白さを理解する。 ・ルールや規則を守る、目標を達成することで「やればできる」という達成感を味わせる ・外(園庭)遊びを通してルールを守り、友達と遊ぶことの面白さを理解する。				
		でいご	1回目	2回目	3回目	4回目	
新年度 ～夏	4月	ひまわり	集合遊び、模倣遊び	ボール遊び(1人・手)	集合遊び、模倣遊び	ボール遊び(サッカー)	
		でいご	集合遊び、模倣遊び	ボール遊び(1人・手)	集合遊び、模倣遊び	ボール遊び(サッカー)	
	5月	ひまわり	仲間作り遊び	ボール遊び(1人・手)	フープ遊び(置いて)	ボール遊び(サッカー)	
		でいご	仲間作り遊び	ボール遊び(1人・手)	フープ遊び(置いて)	ボール遊び(サッカー)	
	6月	ひまわり	フープ遊び(持って)	ボール遊び(1人・手)	コーン遊び	ボール遊び(サッカー)	
		でいご	フープ遊び(持って)	ボール遊び(1人・手)	コーン遊び	ボール遊び(サッカー)	
	7月	ひまわり	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(1人・手)	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(サッカー)	
		でいご	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(1人・手)	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(サッカー)	
	8月	ひまわり	ジャンケン遊び	ボール遊び(2人・手)	長縄跳び	ボール遊び(サッカー)	
		でいご	ジャンケン遊び	ボール遊び(2人・手)	長縄跳び	ボール遊び(サッカー)	
	体力作り	9月	ひまわり	短縄跳び(持って)	ボール遊び(2人・手)	短縄跳び(持って)	ボール遊び(サッカー)
			でいご	短縄跳び(持って)	ボール遊び(2人・手)	短縄跳び(持って)	ボール遊び(サッカー)
10月		ひまわり	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(2人・手)	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(サッカー)	
		でいご	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(2人・手)	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(サッカー)	
11月		ひまわり	バランス遊び	ボール遊び(2人・手)	リレー遊び	ボール遊び(サッカー)	
		でいご	バランス遊び	ボール遊び(2人・手)	リレー遊び	ボール遊び(サッカー)	
12月		ひまわり	バルーン遊び	ボール遊び(集団)	フープ遊び(置いて)	ボール遊び(サッカー)	
		でいご	バルーン遊び	ボール遊び(集団)	フープ遊び(置いて)	ボール遊び(サッカー)	
体力作り～総仕上げ	1月	ひまわり	フープ遊び(持って)	ボール遊び(集団)	コーン遊び	ボール遊び(サッカー)	
		でいご	フープ遊び(持って)	ボール遊び(集団)	コーン遊び	ボール遊び(サッカー)	
	2月	ひまわり	長縄跳び	ボール遊び(集団)	サーキット遊び	ボール遊び(サッカー)	
		でいご	長縄跳び	ボール遊び(集団)	サーキット遊び	ボール遊び(サッカー)	
	3月	ひまわり	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(集団)	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(サッカー)	
		でいご	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(集団)	鬼遊び、伝承遊び	ボール遊び(サッカー)	
備考		※年間の流れとしては、上記の表を基本に組み立てるが、園の実情、要望に合わせて指導者と協議し、適宜変更して良い。 ※基本の運動及び鬼遊び(集団ゲーム)は年間を通して適宜取り入れる。					
5年度反省点 修正点 抱負		昨年度は、運動遊びを円滑に行える様、力のバランスが偏りすぎない様、クラス毎にグループ分けを決めていただき有難うございました。また、指導後のコメントを書いていただくことで、子ども達の様子や先生方の感じたことを知ることができ、次回の運動遊びに活かすことが出来ました。今年度も宜しくお願いいたします。 今年度もまずは安全第一に、そして楽しく行っていける様取り組んでいけたらと考えています。事故、怪我に配慮した構成を考え、言葉掛けを考え、先生方と共有していきながら、子ども達が楽しく、自主的に参加出来るような運動遊びにしていけたらと考えています。					

## 大地保育園（5歳児）書道指導案

- 小学校入学が近い（5歳児）へ、書道学習を通して、文字への関心を広げる
- ひらがなを読むことから、書くことへの動機づけ
- 書く楽しさ喜びを通して健やかな心を養う

導 入 期 (4月～6月)	あいさつ・姿勢態度などの礼儀作法の徹底 準備片づけの徹底 書道用具の名前を覚える 所作（マナー）の徹底【書く時の姿勢】 書道用具の配置／書いた作品の扱いの注意 筆・鉛筆の持ち方指導 いろいろな線を書こう【縦線、横線、マル、ジグザグ線など】 類似する、ひらがなに気をつけて書こう
展 開 期 (7月～9月)	導入期を基に、一筆一筆、文字に対する意識の集中を図る ひらがなを覚えよう 書き順に気を付けて書く とめ、はね、はらいの筆使いの留意 一文字の完成（作品）を目指す 名前の書き方指導
展 開 期 (10月～12月)	7月～9月にかけて学んだことを発展させる 二文字の完成（作品）を目指す バランス感覚を体得する
ま と め 期 (1月～3月)	これまで学んできたことの集大成として、思いでの作品 作りの完成

園児全員の作品展

# 事業計画書

## 大地学童クラブ

### 1. 健全育成・子育て支援事業

昼間、保護者が仕事により家庭にいない小学校児童のカギっ子対策として『放課後児童対策事業』が始まり、平成3年4月に大地学童クラブがスタート。

学童では、遊びによる発達の助長・児童の健全育成を目的とし、降所までの時間の健康管理・安全確保・情緒の安定をモットーに学童期に達成される地域や家庭での自発的・積極的な活動への意欲、規則正しい生活習慣の獲得、仲間づくりなどの自立心と社会性の育成と異年齢児集団や統合保育で育ちあう「思いやり」「いたわり」「共同」の心を育ていけるよう取り組んでいく。

平成27年度より上田小学校の分校であるゆたか小学校が開校するに伴い、大地学童はゆたか小学校へ通う児童を受け入れている。

大地学童クラブは、平成29年7月よりゆたか小学校裏へ移転し保育を行っている。

### 2. 学童保育内容

- ・遊びや日々の生活を通して集団生活に必要なルールを身につけ、情緒の安定をはかり、友だちとの関わり（異年齢児集団、統合保育）の中で思いやりの心で交流できる人間関係作りに配慮する。
- ・保育の中に戸外活動や遊びを積極的に取り入れ、自然の移り変わりを肌で触れ、体験させることで五感を磨く。夏休みには特別体験活動で制作や遠足・社会見学等を通して、知識や集中力、忍耐力をつける保育を行う。
- ・毎日の宿題や家庭学習の見守り、声かけを行い、勉強の習慣が身につく環境作りをする。
- ・「学童クラブだより」を月に1回発行し、学童クラブでの活動と児童の様子を保護者に知らせ、共通理解を図る。

### 3. 年間行事計画の概要

・別紙に記載添付

### 4. 予定開設日数・・・293日

### 5. 学童の主な日課

12:00～ 学童開所

15:15～ 各学年順次登所（1年→支援員と徒歩下校。2～6年→徒歩で集団下校）

15:20～ 帰ってきた順に手洗い・うがい・手指消毒・検温をしておやつタイム

15:30～ おやつを食べ終えた子から順に学校の宿題に取り組む

16:00～ 宿題を終え支援員が確認後、戸外遊び（16:00～17:00）、室内あそびなどを楽しむ

※火曜日のスイミング（16:25 コース・17:25 コース）のみ沖縄スイミングスクールのバスが迎えにくる

17:30～ 片付け、掃除、降所準備、順次降所

## 行事計画書

## 大地学童クラブ

月	行事名	活動内容
4月	新入児童歓迎お楽しみ会 交通安全指導 学童での約束事確認 避難訓練（1回目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入児童を温かく迎え入れ、子ども達で考えた出し物、プログラムで進行する</li> <li>・下校時の徒歩ルートを確認し交通安全の意識を高める</li> <li>・学童でみんなが楽しくすごすための約束事を確認する</li> <li>・新しく入園した児童もいるため、非常時の避難の仕方を確認しながら行う</li> </ul>
5月	交流遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びを通して友達を増やし、学童の生活に慣れる</li> </ul>
6月	平和祈念資料館での平和学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和について学びを深める</li> </ul>
7月	KYT（危険予知トレーニング）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動の中で、安全に対する意識を高めていく</li> </ul>
8月	夏休み体験活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会見学などに出かけ、体験活動を楽しむ</li> <li>・公園に出かけ、身体を思い切り動かしのびのび遊ぶ</li> <li>・おやつ作りや昼食作りを行い、手作りを経験し食育へとつなげていく</li> <li>・制作活動を通して丁寧さや創造力を育む</li> </ul>
9月	学童での約束事再確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みが終わって気が緩むことがあるため、学童での約束事などを再確認する</li> </ul>
10月	遠足 避難訓練（2回目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋休みを利用し、公園へでかけて外遊びを満喫する</li> <li>・地震発生時の身の守り方や避難の仕方を設定し行う</li> </ul>
11月	栽培活動（ジャガイモ等植え付け）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土と触れ合いながら植え付けなどを体験し、生長に期待しながら栽培活動を楽しむ</li> </ul>
12月	ワクワクお楽しみ会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の得意なことを皆の前で披露したり、ダンスやレクを楽しむ</li> </ul>
1月	楽しい体験活動 修了記念写真撮影	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正月遊び(すごろく、コマ回し)や集団遊びを楽しむ</li> <li>・みんなで一年間の成長や活動を振りかえる</li> </ul>
2月	野外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の公園などに出かけ、身体を思い切り動かしてのびのび遊ぶ</li> </ul>
3月	栽培活動（ジャガイモ等収穫） カレーパーティー 遠足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫を体験しながら喜びを味わう</li> <li>・収穫した野菜でカレー作りを楽しみ、収穫の喜びを深める</li> <li>・公園へ出かけ、楽しい時間を過ごし思い出をつくる</li> </ul>

## 職員研修年間計画

### \*ねらい

- ・保育園における保育や子育て支援活動等の質的充実を図るとともに、保育の知識や技術及び施設運営の質をたかめるよう、自己研鑽に努める。
- ・可能な限り研修等に参加することで専門性・人間性を深め、質の向上を図る。

### 所内研修年間計画

#### \*研修概要

開催日	研修名	主催
毎月1回	保育会議 (クラスの様子、共通理解、伝達事項、事例検討)	社会福祉法人そてつ福祉会
毎月1回	給食会議 (クラスの様子、共通理解、伝達事項、事例検討)	社会福祉法人そてつ福祉会
不定期	研修報告会	社会福祉法人そてつ福祉会

### 外部研修年間計画

#### \*研修概要

開催日	研修名	主催
5月	園長・校長等管理職研修会(22日)オンライン	豊見城市保育こども園課
	沖縄県私立保育園連盟定期総会・研修	一般社団法人 沖縄県私立保育園連盟
	第1回豊見城市保幼こ小連携連絡部会(28日)オンライン	豊見城市保育こども園課
6月	豊見城市保育研究大会(3日)	豊見城市・豊見城市社会福祉法人立園長会
	園内研究発表会	沖縄県私立保育園連盟南部ブロック
	第1回豊見城市保育士・保育教諭等研修会(14日)	豊見城市保育こども園課
	給食施設(児童福祉施設)職員研修会	沖縄県南部福祉保健所
	豊見城市公開保育(座安保育所)(19日)	豊見城市保育こども園課
7月	放課後児童支援員等資質向上研修(初任・中堅・主任・障害) 6月～3月、全20科目	NPO法人沖縄県学童・保育支援センター
	乳幼児保育施設長等研修会(9日)オンライン	豊見城市保育こども園課
	園長研修会	沖縄県私立保育園連盟 沖縄県社会福祉協議会(後援)
	第1回豊見城市子ども・子育て講演会(21日)	豊見城市保育こども園課
	豊見城市幼児教育・保育施設長等研修会(オンライン)	豊見城市保育こども園課
	第2回豊見城市保育士・保育教諭等研修会(12日)	豊見城市保育こども園課
8月	ティーチャーズトレーニング研修会(計10回)	豊見城市保育こども園課
	公私立幼稚園教諭・こども園保育教諭・保育所(園)保育士等研修会	南部広域行政組合島尻教育研究所
9月	地区別保育所職員研修会	沖縄県社会福祉協議会 沖縄県保育協議会
	第2回豊見城市子ども・子育て講演会(22日)	豊見城市保育こども園課
10月	第3回豊見城市保育士・保育教諭等研修会(21日)＜オンライン＞	豊見城市保育こども園課
	保育所初任保育士研修(オンライン)	沖縄県社会福祉協議会 福祉人材研修センター
11月	初任保育所長等研修会(オンライン)	厚生労働省
	児童虐待防止月間に伴う講演会	豊見城市要保護児童対策地域協議会
	沖縄県私立保育園連盟保育研究大会	一般社団法人 沖縄県私立保育園連盟
	中堅主任保育士研修会(オンライン)	厚生労働省
	豊見城市公開保育(上田こども園)(中旬頃)	豊見城市保育こども園課
12月	沖縄県保育所長・市町村関係職員研修会	沖縄県社会福祉協議会 沖縄県保育協議会
	初任主任保育士研修会(オンライン)	厚生労働省
1月	第5回豊見城市保育士・保育教諭等研修会(16日)	豊見城市保育こども園課
	園内研究発表会	沖縄県私立保育園連盟南部ブロック
	第4回豊見城市保育士・保育教諭等研修会(31日)	豊見城市保育こども園課
2月	沖縄県保育研究大会	沖縄県社会福祉協議会・県保育協議会 沖縄県・各市町村(後援)
	児童福祉施設等給食施設職員研修会	沖縄県社会福祉協議会 福祉人材研修センター
3月	第2回豊見城市保幼こ小連携連絡部会(6日)オンライン	豊見城市保育こども園課
	防火管理・防災管理「新規講習」	一般社団法人 沖縄県消防設備協会

※キャリアアップ研修(7分野)は、詳細が分かり次第、検討する。(対象者12人)

※不定期の研修案内が来た場合には、その都度検討する。

※参加者及び人数についても、その都度検討する。

※研修報告会ができない際は、研修報告書を全職員に回覧する。

# 社会福祉法人そてつ福祉会

## 役員及び評議員等の報酬に関する規程

### (目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人そてつ福祉会（以下「本会」という。）の定款第8条及び第21条の規定に基づき、役員及び評議員等の報酬に関し必要な事項を定めることを目的とする。

### (報酬の支給)

第2条 本会の役員及び評議員等には、次のとおり報酬を支給する。

- |                               |            |
|-------------------------------|------------|
| (1) 監事が監査を行った場合               | 日当 10,000円 |
| (2) 役員及び評議員等が、評議員会、理事会へ参加した場合 | 日当 3,000円  |
| (3) 評議員選任・解任委員会へ参加した場合        | 日当 3,000円  |
| (4) 役員及び評議員等が、研修会や諸会議へ参加した場合  | 日当 3,000円  |

### (報酬の総額)

第3条 報酬は、各年度の総額を次のとおり定める。

- (1) 理事に対して、200,000円を超えない範囲で支給することができる。
- (2) 監事に対して、100,000円を超えない範囲で支給することができる。
- (3) 評議員に対して、100,000円を超えない範囲で支給することができる。

### (公表)

第4条 本会は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項第2号に定める報酬等の支給の基準として公表するものとする。

### (改廃)

第5条 この規程の改廃は、評議員会の決議を経て行う。

### 附則

この規程は、平成29年6月15日に制定し、平成29年4月1日から遡及施行する。  
この規程は、平成30年6月21日に改正し、施行する。



# 社会福祉法人そてつ福社会定款

## 第1章 総則

### (目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

#### (1) 第二種社会福祉事業

(イ) 保育所の経営

(ロ) 放課後児童健全育成事業の経営

### (名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人そてつ福社会という。

### (経営の原則等)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、地域の子育て世帯を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

### (事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を沖縄県豊見城市字豊見城197番地69に置く。

## 第2章 評議員

### (評議員の定数)

第5条 この法人に評議員7名を置く。

### (評議員の選任及び解任)

第 6 条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事 1 名、事務局員 1 名、外部委員 1 名の合計 3 名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の 1 名が出席し、かつ、外部委員の 1 名が賛成することを要する。

(評議員の任期)

第 7 条 評議員の任期は、選任後 4 年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。
- 3 評議員は、第 5 条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第 8 条 評議員に対して、各年度の総額が 1 0 0, 0 0 0 円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

### 第 3 章 評議員会

(構成)

第 9 条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第 1 0 条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (4) 定款の変更

- (5) 残余財産の処分
- (6) 基本財産の処分
- (7) 社会福祉充実計画の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第11条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後3か月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第12条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第13条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第15条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

- 4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員(当該事項について議決に加わることができるものに限る。)の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第14条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名は、前項の議事録に記名押印する。

## 第4章 役員及び職員

(役員の数)

第15条 この法人には、次の役員を置く。

(1) 理事 6名

(2) 監事 2名

2 理事のうち1名を理事長とする。

(役員を選任)

第16条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第17条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 理事長は、毎会計年度に4か月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第18条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第19条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。

3 理事又は監事は、第15条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第20条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第21条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(職員)

第22条 この法人に、職員を置く。

- 2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。
- 3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

## 第5章 理事会

(構成)

第23条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第24条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長の選定及び解職

(招集)

第25条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第26条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限

る。)の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案について異議を述べたときを除く。)は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第27条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第6章 資産及び会計

(資産の区分)

第28条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他財産の2種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

(1) 沖縄県豊見城市字豊見城197番地69所在の鉄筋コンクリート造陸屋根3階建  
大地保育園園舎 1棟(1110.23平方メートル)

(2) 沖縄県豊見城市字豊見城29番地所在の敷地(677.66平方メートル)

3 その他財産は、基本財産以外の財産とする。

4 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第二項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第29条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会及び評議員会の承認を得て、南部広域市町村圏事務組合理事会の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、南部広域市町村圏事務組合理事会の承認は必要としない。

一 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合

二 独立行政法人福祉医療機構と協調融資(独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。)に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合(協調融資に係る担保に限る。)

(資産の管理)

第30条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第31条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第32条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)

(5) 貸借対照表及び収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事並びに評議員の名簿

(3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第33条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第34条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第35条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意がなければならない。

## 第7章 解散

(解散)

第36条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第37条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

## 第8章 定款の変更

(定款の変更)

第38条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、南部広域市町村圏事務組合理事会の認可（社会福祉法第45条の36第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を南部広域市町村圏事務組合理事会に届け出なければならない。

## 第9章 公告の方法その他

(公告の方法)

第39条 この法人の公告は、社会福祉法人そてつ福祉会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第40条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

## 附 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長 佐久本 盛 光



理事 嘉 数 行 雄  
" 平 田 永 哲  
" 新 垣 典 子  
" 外 間 勝 義  
" 嘉 数 光 一 郎  
監事 金 城 盛 夫  
" 赤 嶺 光 男

附 則

この定款は、昭和55年3月31日から施行する。

附 則

この定款の改正は、沖縄県知事の認可の日（平成7年2月17日）から施行する。

附 則

この定款の改正は、沖縄県知事の認可の日（平成10年6月29日）から施行する。

附 則

この定款の改正は、南部広域市町村圏事務組合理事会の認可の日（平成27年2月16日）から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則

この定款の改正は、平成29年4月1日から施行する。

第5条で定める評議員の人数は、平成29年4月1日から平成32年3月31日までの間は「4名以上」とする。

附 則

この定款の改正は、南部広域市町村圏事務組合理事会の認可の日（令和元年9月10日）から施行する。

社会福祉法人そてつ福社会 役員等名簿

No.	役 職	氏 名
1	理事長	嘉数 成 勇
2	理事	當山 博 子
3	理事	上原 康
4	理事	村社 真知子
5	理事	岡 真由美
6	理事	フィルマンシャ 當銘ゆきの

1	監事	新垣 一 美
2	監事	崎濱 洋 介

1	評議員	富里 美奈子
2	評議員	佐久本 盛光
3	評議員	平良 佳 子
4	評議員	新垣 富 子
5	評議員	宮城 栄 子
6	評議員	田港 美加子
7	評議員	稲家 和 子